

**COMPAQ**

**コンソール スイッチ ボックス**  
ユーザ ガイド

第2版 (2000年9月)  
製品番号 141555-192  
コンパックコンピュータ株式会社

## ご注意

© 2000 Compaq Computer Corporation.  
© 2000 コンパックコンピュータ株式会社

Compaq は、米国 Compaq Computer Corporation の商標です。

SoftPaq は、米国 Compaq Information Technologies Group, L.P. の商標です。

Microsoft、MS-DOS、Windows および Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他に国における登録商標です。

本書に掲載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。

本書の内容は、そのままの状態を提供されるもので、いかなる保証も含みません。本書の使用の結果生じるあらゆるリスクはお客様負担となります。いかなる場合もコンパックは、直接損害、結果損害、付随的損害、特別損害、懲罰的損害その他いかなる損害（業務上利益の逸失、業務の中断、業務情報の喪失から生じる損害を含むがこれらに限られません）についても何らの責任も負担しません。コンパックが当該損害の発生の可能性について知らされていた場合でも、また、過失を含め、契約上の行為または不法行為のいずれによる損害についても、同様にコンパックは何らの責任も負担しません。

コンパック製品に対する限定保証は、当該製品に付属の資料に記載されたものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証を拡張するものではなく、また新たな保証を追加するものではありません。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で 사용되는場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれています。

Compaq コンソール スイッチ ボックス ユーザ ガイド  
第2版（2000年9月）  
製品番号 141555-192

# 目次

## このガイドについて

表記上の規則 .....	vii
本文中の記号 .....	viii
装置の記号 .....	viii
ラックに関する注意 .....	ix
ヘルプ情報の入手方法 .....	ix
コンパックのWebサイト .....	ix
コンパック カスタマーセンター .....	x

## 第1章

### はじめに

製品概要 .....	1-1
機能 .....	1-2
コンフィギュレーション .....	1-3
入手可能なモデル .....	1-6

## 第2章

### ハードウェアのインストール

インストールのチェックリスト .....	2-2
2ポート0Uインストール .....	2-3
2ポート キーボード/ビデオ/マウス ケーブルを接続する .....	2-5
4ポートおよび8ポート サイド マウント0Uインストール .....	2-6
4ポートおよび8ポート リア ラック0U インストール .....	2-7
スライド レール ブラケットを取り付ける .....	2-8
4ポートおよび8ポート標準1Uインストール .....	2-10
スライド レール ブラケットを取り付ける .....	2-10
テンプレートを使用して測定する .....	2-10
調整可能なラック マウンティング ブラケットを取り付ける .....	2-11
ラックマウント インストール .....	2-13
カバー パネルをインストールする .....	2-14
インストールの完了 .....	2-14

## 第3章

### ケーブル接続

ケーブル情報 .....	3-1
ケーブル ロック メカニズム .....	3-1
ケーブルの接続 .....	3-3
スイッチ ボックスの起動動作 .....	3-5
コンピュータの起動動作 .....	3-5
スイッチ ボックスの設定 .....	3-5
自動再起動 .....	3-5
スイッチのリセット .....	3-6
電源が入った状態での接続 .....	3-6
その他のコンフィギュレーション .....	3-6
カスケード接続コンフィギュレーション .....	3-6
システムに電源が入った状態でカスケード接続を行う .....	3-7
デュアル コンソール コンフィギュレーション .....	3-8

## 第4章

### オン スクリーン ディスプレイの使用

オン スクリーン ディスプレイ .....	4-1
他の言語 .....	4-1
機能 .....	4-2
ナビゲーション .....	4-2
メニューの概要 .....	4-4
OSDの[Main]画面 .....	4-4
[Setup]画面 .....	4-6
[Commands]画面 .....	4-7
[Version]画面 .....	4-8
[Reset] コマンド .....	4-9
[Devices]画面 .....	4-10
[Device Modify]画面 .....	4-11
[Names]画面 .....	4-12
[Menu]画面 .....	4-13
[Scan]画面 .....	4-14
[Flag]画面 .....	4-17
[Security]画面 .....	4-19
[Broadcast]画面 .....	4-22
セカンダリ スイッチのOSDへのアクセス .....	4-25
コンピュータ間の切り替え .....	4-26
ソフトスイッチの実行 .....	4-26
画面キャプチャの実行 .....	4-27

## 第5章

### 簡易OSDの使用

OSDの起動 .....	5-1
画面キャプチャの実行 .....	5-1
簡易OSDの[Selection]画面 .....	5-2
プライマリ スイッチの簡易OSDを開く、または簡易OSDの[Selection]画面にアクセスする .....	5-2
簡易OSDのステータス ポートの記号 .....	5-3
簡易OSDの[Advanced Menus]画面 .....	5-3
簡易OSDの[Advanced Menus]を開く .....	5-3
簡易OSDを終了する .....	5-4
コンピュータの選択 .....	5-4
コンピュータを切り替える .....	5-5
コンピュータに固有の名前を割り当てる .....	5-5
メニュー属性の変更 .....	5-6
画面表示への設定の影響 .....	5-8
ステータス フラグ属性の変更 .....	5-9
フラグ表示の値および設定の影響 .....	5-10
コンピュータのスキャン .....	5-10
スイッチをスキャン モードにする .....	5-10
スキャン モードをキャンセルする .....	5-11
カスタム スキャン パターンを設定する .....	5-11
スキャン リストからコンピュータを削除する .....	5-12
サーバ アクセスのセキュリティ設定 .....	5-12
画面およびキーボードをロックする .....	5-13
スクリーン セーバをオフにする .....	5-15
コンソールをロックせずにモニタをブランクにする .....	5-15
バージョン情報の表示 .....	5-15
ハードウェア設定の保存 .....	5-16
マウスおよびキーボードのリセット .....	5-17
特定のデバイス タイプの割り当て .....	5-17

## 付録A

### 規定に関するご注意

規定準拠識別番号 .....	A-2
各国別勧告 .....	A-2
Federal Communications Commission Notice (米国) .....	A-2
Class A Equipment .....	A-3
Class B Equipment .....	A-3
Modifications .....	A-3
Cables .....	A-3
Declaration of Conformity for Products Marked with the FCC logo – United States Only .....	A-4

vi Compaqコンソール スイッチ ボックス ユーザ ガイド

Canadian Notice (Avis Canadien) (カナダおよびカナダ、フランス語使用地域) .....	A-5
Class A Equipment .....	A-5
Class B Equipment .....	A-5
European Union Notice (欧州) .....	A-5
Taiwanese Notice (台湾) .....	A-5

**付録B**

**電源コードについて**

一般的な条件 .....	B-1
国別必要条件 .....	B-2

**付録C**

**仕様**

**付録D**

**トラブルシューティングのヒント**

**付録E**

**ファームウェアのアップデート**

手順 .....	E-1
----------	-----

**索引**

# このガイドについて

このユーザ ガイドでは、インストール手順を順番に説明しています。操作、トラブルシューティング、およびアップグレードの際に参照してください。

## 表記上の規則

このガイドでは、以下の表記規則を採用しています。

キー	<b>Enter</b> や <b>F10</b> などのキーの名前は、太字で、先頭の文字だけ大文字で表記します。2つのキーの間の正符号 (+) は、それらのキーを同時に押さなければならないことを示します。
ユーザ入力	別の字体の大文字で表記します。
ファイル名	イタリック体の大文字で表記します。
メニュー オプション コマンド名、ダイアログ ボックス名	[ ]で囲み表記します。
コマンド、ディレクトリ 名およびドライブ名	すべて大文字で表記します。
タイプ	「タイプしてください」と指示されている場合、キーボードから情報を入力した後に <b>Enter</b> キーを押す必要はありません。
入力	「入力してください」と指示されている場合、情報を入力した後に <b>Enter</b> キーを押します。

## 本文中の記号

本文中の以下の記号の意味を示します。



**警告:** その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こす恐れがある警告事項を表します。

---



**注意:** その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こす恐れがある注意事項を表します。

---

**重要:** 詳しい説明や具体的な手順を示します。

---

**注:** 解説、補足または役に立つ情報を示します。

## 装置の記号

安全上の注意が必要な装置の各部には、以下の記号が表示されています。



装置の表面または内部部品に触れると感電の危険があることを示します。カバー内には、一般のユーザが修理できる部品は入っていません。

**警告:** 感電を防止するために、このカバーを開けないようにしてください。

---

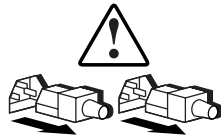


装置の表面または内部部品の温度が非常に高くなる可能性があることを示します。この表面に手を触れるとやけどをする場合があります。

**警告:** 表面が熱くなっているため、やけどをしないように、システムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。

---





電源やシステムにこれらの記号が付いている場合、装置の電源が複数あることを示します。

**警告:** 感電しないように、電源コードをすべて抜き取ってシステムの電源を完全に切ってください。

---

## ラックに関する注意



**警告:** けがや装置の損傷を防止するために、次の点に注意してください。

- ラックの水平脚を床まで延ばしてください。
  - ラックの全重量が水平脚にかかるようにしてください。
  - 1つのラックだけを設置する場合は、ラックに固定脚を取り付けてください。
  - 複数のラックを設置する場合は、ラックを連結してください。
  - 一度に複数のコンポーネントを引き出すと、ラックが不安定になる場合があります。コンポーネントは一度に1つずつ引き出してください。
- 

## ヘルプ情報の入手方法

問題が発生し、このガイドの情報だけでは解決できない場合、次のところから詳細な情報やその他のヘルプ情報を入手できます。


## コンパックのWebサイト

コンパックのWebサイトでは、最新のドライバやフラッシュROMに関する製品情報を提供しています。コンパックのWebサイト（<http://www.compaq.co.jp/>または<http://www.compaq.com/>）にアクセスするには、インターネットにログオンする必要があります。

## コンパック カスタマーセンター

コンパックのフリーダイヤル（全国どこからでも無料です）のホットラインで、各種の技術的なご質問にお答えしておりますのでご利用ください。

コンパック カスタマーセンター

電話番号		<small>とってもいいねコンパック</small> <b>0120-101589</b>
ご利用時間帯	月曜日～金曜日 9:00～12:00 および 13:00～17:00 (祝祭日、コンパック指定休日を除く)	

# 第1章

## はじめに

### 製品概要

Compaqコンソール スイッチ ボックスを使用すると、大規模コンピュータ ネットワークを、1台のキーボード、モニタ、およびマウスを使用して制御することができます。1つのビデオ画面上で、さまざまなオペレーティング システムを実行中のコンピュータを最大64台選択することができます。

4ポートおよび8ポート スイッチ ボックスは、接続されている各コンピュータにアクセスするためのメニューを持つ、オン スクリーン ディスプレイ (OSD) インタフェースを使用しています。コンピュータは名前または番号で識別できるため、ユーザにとって意味のあるサーバ名を表示し、選択することが可能です。2ポート スイッチ ボックスでは、簡易OSDを使用しています。

代表的なCompaqコンソール スイッチ ボックスのコンフィギュレーションは、キーボード/モニタ/マウス (KMM) またはキーボード/ビデオ/マウス コンフィギュレーションとも呼ばれ、コンソール (モニタ、キーボード、マウス)、スイッチ ユニット、および接続されたコンピュータにより構成されます。シングル ユーザ システムまたはマルチ ユーザ システムを選択することができます。追加のコンソール スイッチ ボックスをプライマリ スイッチ ボックスに接続することにより (カスケード接続と呼ばれます)、アクセスできるコンピュータを4台または8台から最大64台まで増加することができます。カスケード接続により、ネットワーク システムのニーズの変化に伴ってコンソール スイッチ ボックス システムを変更することが可能になります。

8ポート スイッチ ユニットには、デュアル コンソール機能を提供するものもあります。これにより2箇所以上から、または2人以上のユーザが、スイッチ コンフィギュレーションを制御できます。

## 1-2 Compaqコンソール スイッチ ボックス ユーザ ガイド

コンピュータを切り替えるには、キーボードでコマンドをタイプするだけです。選択されたコンピュータは、キーボードでタイプされた文字を受信し、モニタにビデオ出力を表示します。マウスを使用して、選択されたコンピュータのグラフィック インタフェースを使用することもできます。

Compaqコンソール スイッチ ボックス ファミリの製品には2、4、および8ポートのバージョンがあり、大規模から小規模まで、さまざまなシステムに合ったコンフィギュレーションで使用できます。どのバージョンも、スペースをとらない1Uハイト（4.34センチ）の空間に収められます。

この章では、コンソール スイッチ ボックスの特徴および機能の概要、ならびにサンプル コンフィギュレーションを示します。

### 機能

コンソール スイッチ ボックスは、さまざまなコンフィギュレーションで、2～64台のサーバを接続するために使用できます。

コンソール スイッチ ボックスには次の機能があります。

- **オン スクリーン ディスプレイ (OSD)** - 電源投入時テスト データやコンフィギュレーション メニューなどのシステム関連情報をモニタに表示します。
- **プログラマブル スキャン** - システム内の任意のまたはすべてのコンピュータを順にスキャンして、システムの性能を評価します。プログラマブル スキャンにより、含めるべきコンピュータと接続の期間を決定することができます。
- **コンフィギュレーションNVRAM** - キーボードから入力されたコマンドを使用して、コンフィギュレーション情報の設定を容易にします。NVRAM（不揮発性RAM）は、ユニットの電源が切られた場合でも、情報が変更されるまで既存のコンフィギュレーションを保存します。
- **リセット スイッチ** - キーボードまたはマウスの通信が途切れた場合、システムへの電源供給を中断せずにユニットをリセットします。
- **パスワード保護** - セキュリティのためのパスワード オプションを提供することにより、権限のないユーザの使用を防ぎます。
- **ファームウェア アップデート** - スイッチ ボックスのアプリケーション コードはFLASH ROMの中に存在するため、アップデートを迅速かつ簡単に行うことができます。ポート通信は自動的に設定され、接続されているコンピュータから直接ダウンロードすることが可能になります。

- **他言語選択** - Compaq コンソール スイッチ ソフトウェア ユーティリティ CD で使用可能な他言語を提供します (2ポート スイッチでは使用できません)。詳細については、このCDを参照してください。

## コンフィギュレーション

組織に固有のニーズを満足するように、コンソール スイッチ ボックスをさまざまな方法で構成することができます。複数のコンソール スイッチ ボックスの構成について詳しくは、第3章を参照してください。

- 1台のスイッチ ボックスを使用して、4台または8台のサーバを接続します。このコンフィギュレーションでは、キーボード、モニター、およびマウスはそれぞれのケーブルによりユニットに直接接続されています。コンソール スイッチ ボックスは、同じラックまたは隣接するラック内のサーバに接続することができます。図1-1を参照して下さい。

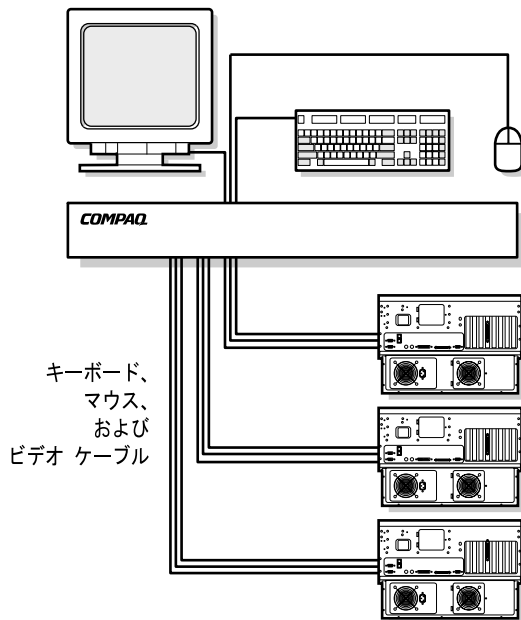


図1-1. 1台の4ポート ユニット

## 1-4 Compaqコンソール スイッチ ボックス ユーザ ガイド

- 複数のコンソール スイッチ ユニットをカスケード接続して、最大64台のサーバを接続することができます。このコンフィギュレーションを図1-2に示します。セカンダリユニットからのデバイスポートは、最初のユニット、つまりプライマリ ユニットのコンピュータ ポートの1つに接続されています。プライマリ ユニットから、複数台のコンソール スイッチ ユニットの接続が可能です。

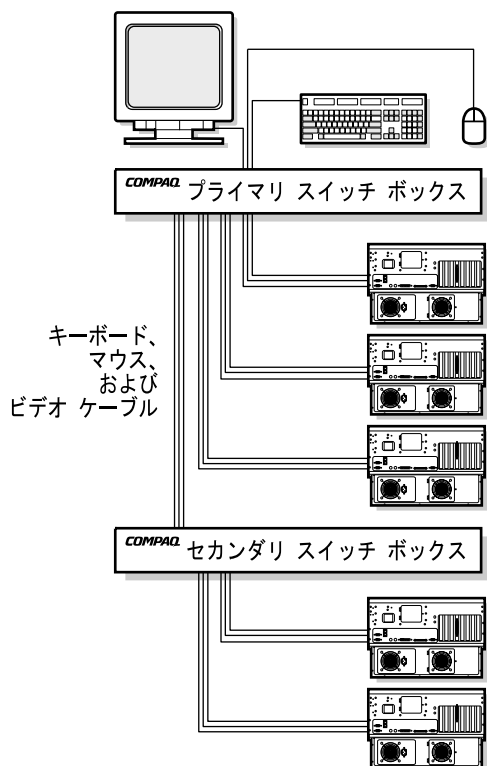


図1-2. カスケード接続コンフィギュレーション

- デュアル コンソール8ポート モデルでは、図1-3に示すように2台のコンソールをセットアップすることができます。これにより2箇所以上から、または2人以上のユーザが、スイッチ システムを制御することが可能になります。

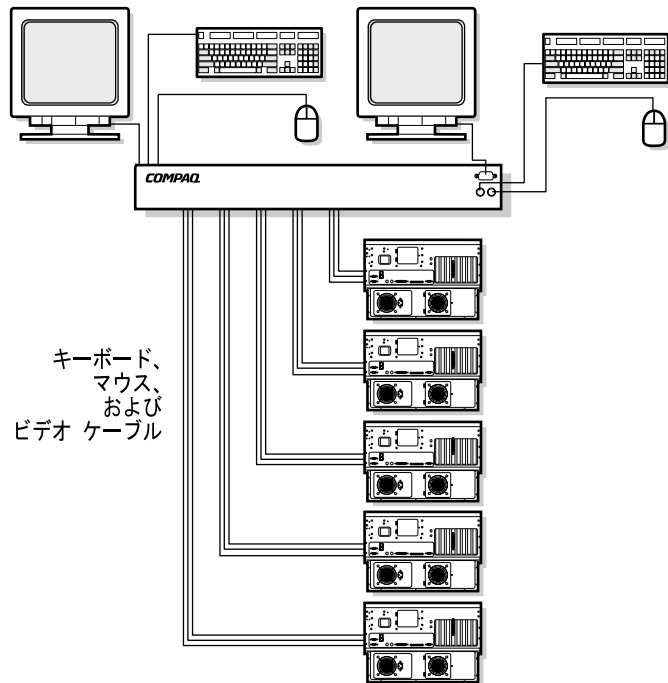


図1-3. デュアル コンソール コンフィギュレーション

## 入手可能なモデル

コンソール スイッチ ボックスは、2、4、または8ポートのバージョンを入手できます。表1-1に、これらのモデルの比較を示します。

表1-1  
モデルの比較表

	2ポート	4ポート	8ポート	デュアル コンソール8ポート
コンピュータ ポートの数	2	4	8	8
コンソール ( モニタ、 キーボード、 マウス ) の数	1	1	1	2
カスケード接 続によるコン ピュータの台 数	N/A	32 ( 8ポートと混 在 )	64	64
スイッチ接続 モードの制御	なし	なし	なし	あり
電源	110/220V AC	110/220V AC	110/220V AC	110/220V AC



## 第2章

# ハードウェアのインストール

この章では、Compaq コンソール スイッチ ボックスのハードウェアのインストールについて説明します。



**警告:** けがや装置の損傷を防止するために、ラックに関する作業を行う前に、次の項目を必ず完了してください。

- ラックの水平脚を床まで延ばしてください。
  - ラックの全重量が水平脚にかかるようにしてください。
  - 1つのラックだけを設置する場合は、ラックに固定脚を取り付けてください。
  - 複数のラックを設置する場合は、ラックを連結してください。
  - コンポーネントは一度に1つずつ引き出してください。（一度に複数のコンポーネントを引き出すと、ラックが不安定になる場合があります。）
-

## インストールのチェックリスト

インストールを開始する前に、次の品目が揃っていることを確認してください。

- Compaqコンソールスイッチボックスキット
  - メインスイッチユニット
  - 電源コード
  - レールおよび金具
  - 『Compaqコンソールスイッチボックスユーザガイド』
  - シリアルケーブル
  - 保証書

次を準備してください。

- ビデオ、キーボード、およびマウス用の相互接続ケーブル（2ポート ラック オプション キットには付属しています）
- 各ユーザコンソール用のモニタ、キーボード、およびマウス

## 2ポート0Uインストレーション

2ポートユニットは、次に示すサイドマウント手順のみを使用してインストールしてください。

1. サイドマウントレールを2ポートユニットに取り付けます。

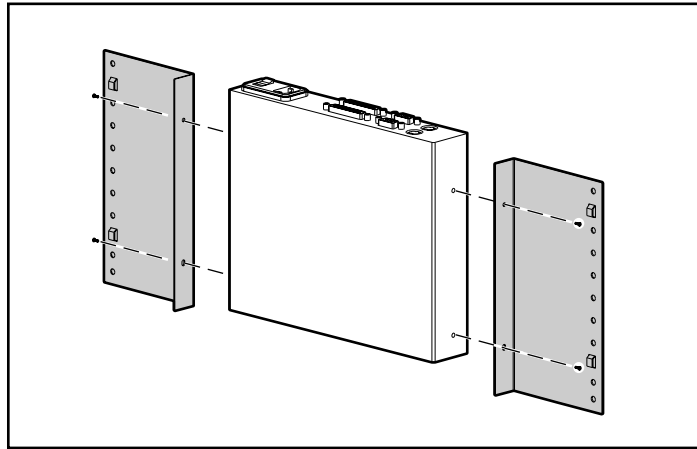


図2-1. 2ポートサイドマウントレールの取り付け

2. レール上のタブを、ラックの両側の同じU位置にスライドさせて差し込みます。

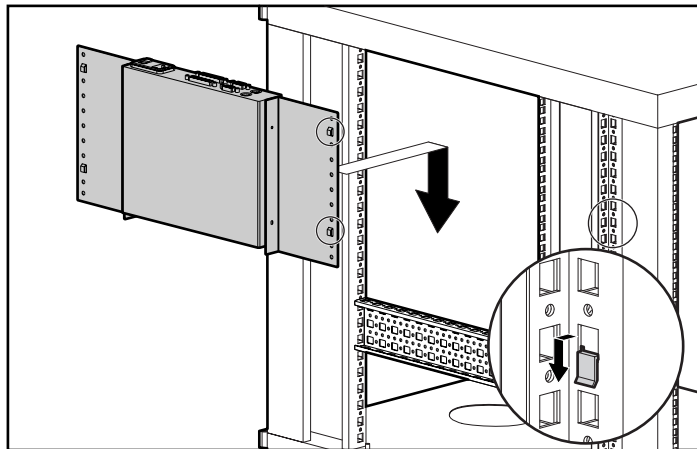


図2-2. 2ポートユニットをラックの側面に装着する

## 2-4 Compaqコンソール スイッチ ボックス ユーザ ガイド

3. 両側のネジを使用して、サイド マウント ユニートをラックに固定します。

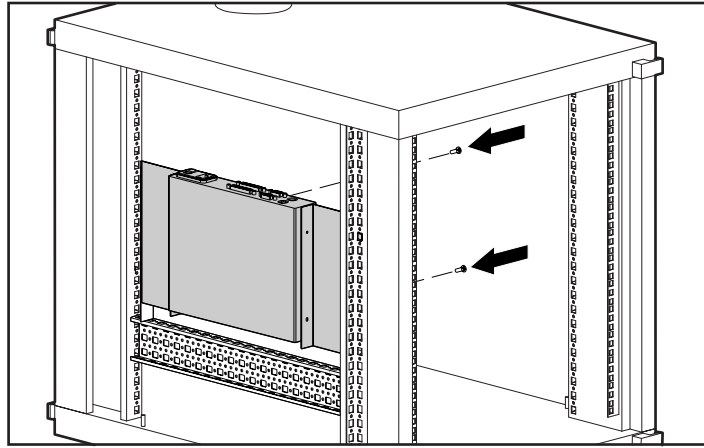


図2-3. 2ポート サイド マウント インストールの固定

## 2ポート キーボード/ビデオ/マウス ケーブルを接続する

2ポート キーボード/ビデオ/マウス ケーブルを、図2-4に示すように接続します。



**警告:** 感電や装置の損傷を防止するために、次の注意を守ってください。

- 電源コードのアース付きプラグは、無効にしないでください。アース付きプラグは、安全上重要な機能です。
- 電源コードは、いつでも簡単に手が届くところにあるアース付きコンセントに接続してください。
- 装置の電源を切る場合は、電源コードをコンセントまたは装置から抜き取ってください。

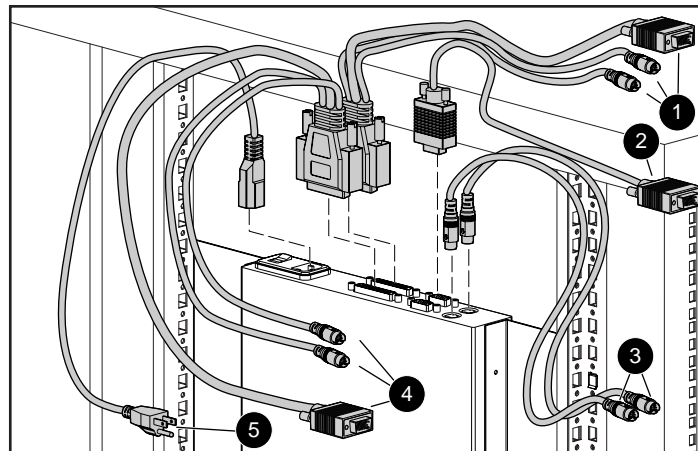


図2-4. 2ポート キーボード/ビデオ/マウス ケーブルの接続

- ① キーボード、モニター、およびマウスの各コネクタをコンピュータ1に接続
- ② モニタのコネクタをスイッチ ボックスのコンソールに接続
- ③ キーボードおよびマウスのコネクタをスイッチ ボックスのコンソールに接続
- ④ キーボード、モニター、およびマウスの各コネクタをコンピュータ2に接続
- ⑤ 電源コード

## 4ポートおよび8ポート サイド マウントOU インストール

次の手順に従って、4ポート、8ポート、またはデュアル コンソール8ポート ユニートをラックの側面にインストールしてください。

1. サイド マウント レールをコンソール スイッチ ユニートに取り付けます。

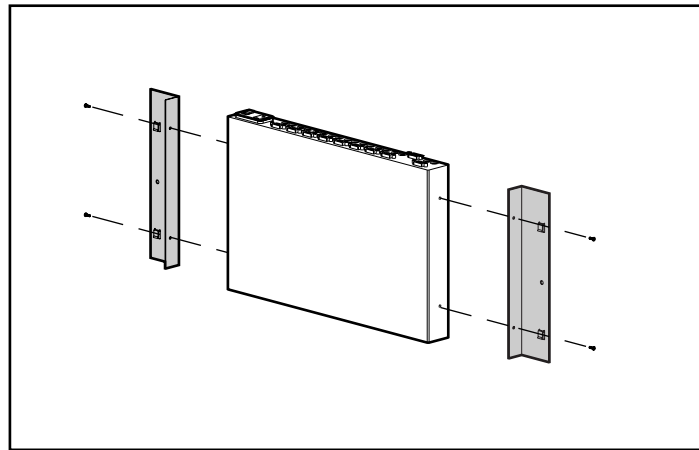


図2-5. サイド マウント レールの取り付け

2. レール上のタブを、ラックの両側の同じU位置にスライドさせて差し込みます。

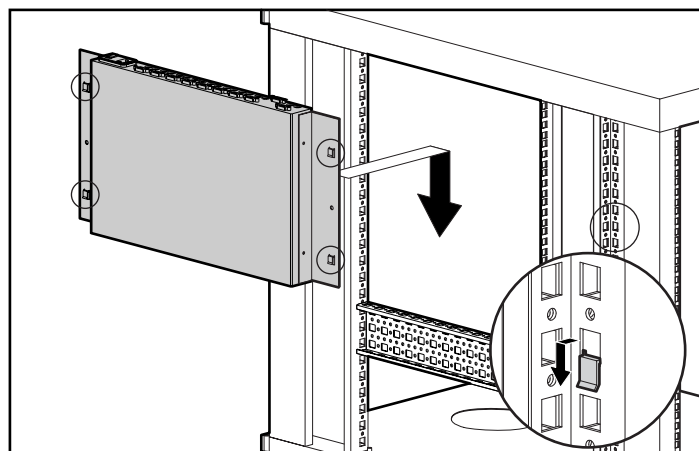


図2-6. ユニートをラックの側面に装着する

3. 両側のネジを使用して、サイドマウントユニットをラックに固定します。

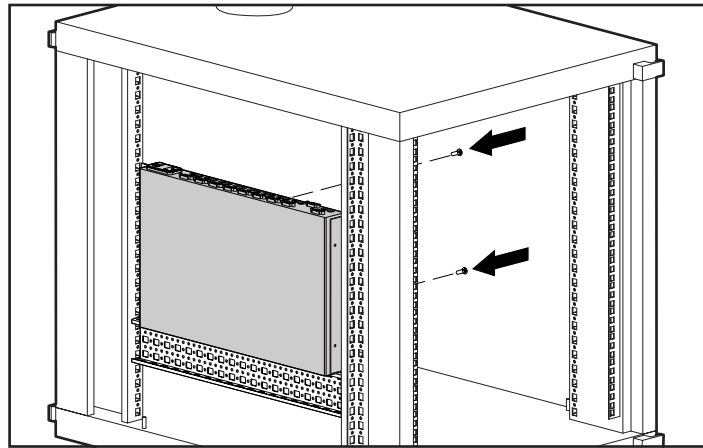


図2-7. サイドマウントインストールの固定

## 4ポートおよび8ポート リア ラック0U インストール

4ポート、8ポート、またはデュアル コンソール8ポート ユニートを、Compaq キーボード シェルフ キットとともに使用する場合は、追加のラック スペースは必要ありません。

## スライド レール ブラケットを取り付ける

1. 付属のネジを使用して、スイッチ ボックスの両側にレールを取り付けます。

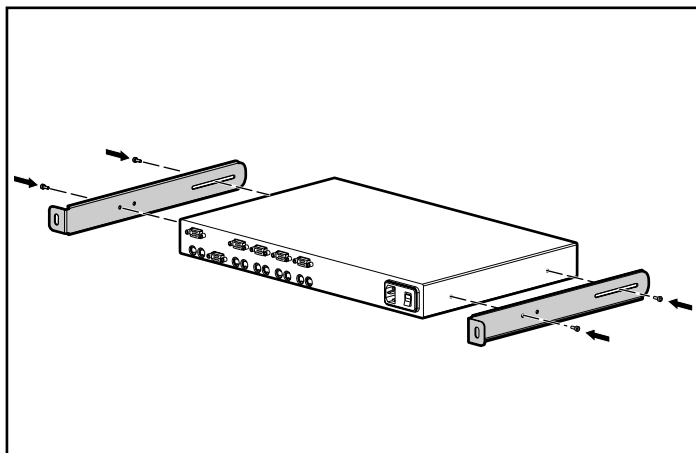


図2-8. スライド レール ブラケットの取り付け

2. ラック背面のレールの内側にケージ ナットが取り付けられていることを確認します。

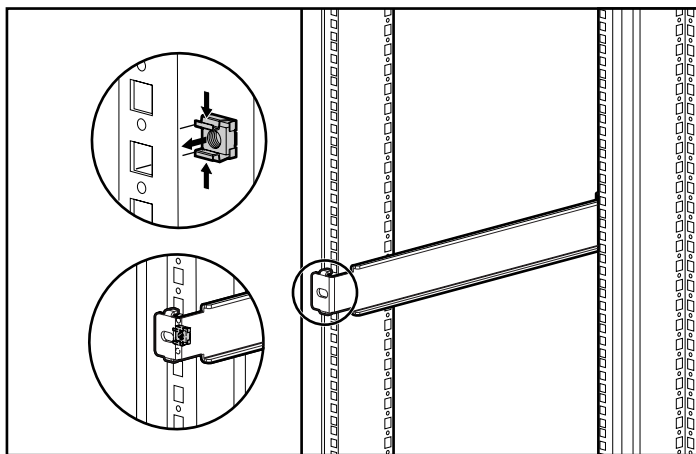


図2-9. ラックの背面にケージ ナットを取り付ける

注: キーボード シェルフのインストール中にケージ ナットが取り付けられていない場合は、このオプションを取り外して、ケージ ナットを所定の位置に取り付けてから再インストールしなければなりません。



3. レールが取り付けられたスイッチ ボックスを、レール マウンティング ブラケットの中にスライドさせて押し込みます。

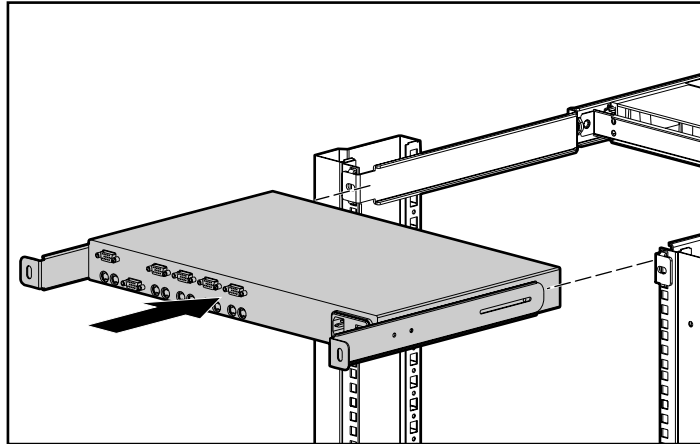


図2-10. スイッチ ボックスをラックの中にスライドさせて押し込む

4. M6ネジを2本使用して、ラックの背面にレールを固定します。

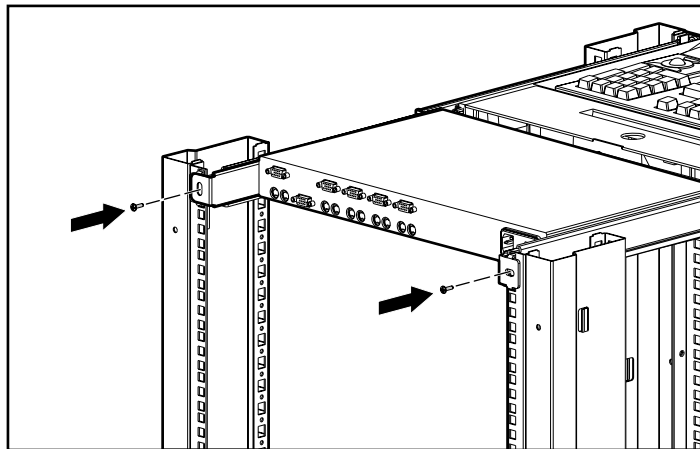


図2-11. レールの固定

## 4ポートおよび8ポート標準 1Uインストール

次の手順に従って、4ポート、8ポート、またはデュアル コンソール8ポート ユニートを、標準1Uコンフィギュレーションでラックにインストールしてください。

### スライド レール ブラケットを取り付ける

図2-12に、スライド レール ブラケットをスイッチ ボックスに取り付ける方法を示します。

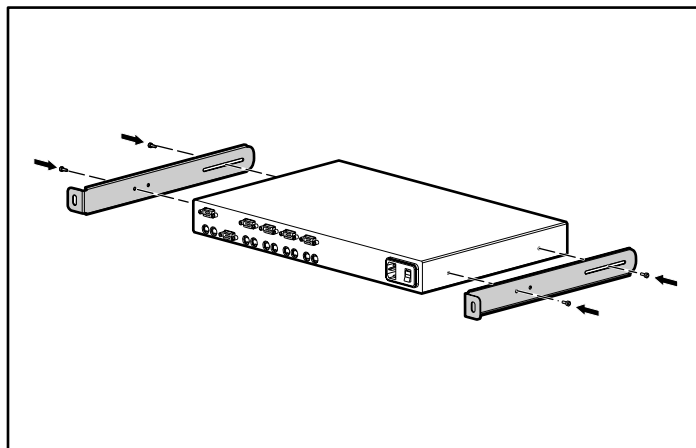


図2-12. スライド レール ブラケットの取り付け

### テンプレートを使用して測定する

Rack Builderソフトウェアが生成する印刷レポートを見て、キーボード シェルフのラック位置を確認します。次に、下のコンポーネントの上部から、ラックフレームの前面と背面でテンプレートを使用して注意深く測定し、マウンティングブラケットとリア ケージ ナットの取り付け位置に印を付けます。

ラックの背面でテンプレートを使用する場合、次のコンポーネントの位置を揃えやすいように、ラックの印はテンプレートの上に付けてください。

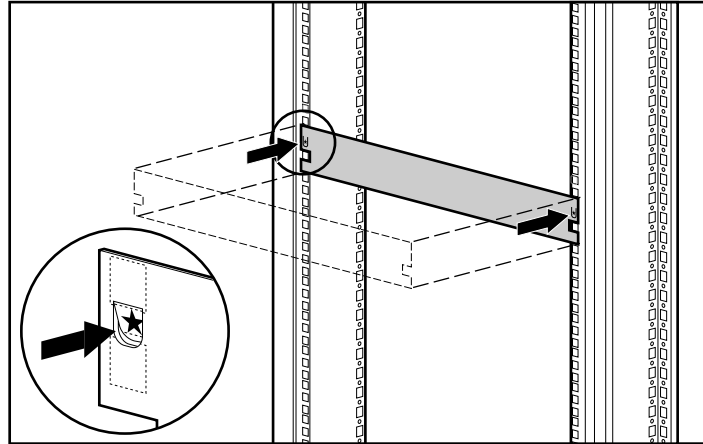


図2-13. テンプレートを使用して測定する

## 調整可能なラック マウンティング ブラケットを取り付ける

調整可能なラック マウンティング ブラケットを取り付けるには、次の手順に従ってください。

1. ウィング ナットを緩く取り付け①、ラックに合わせてレールの長さを調節できるようにします②。

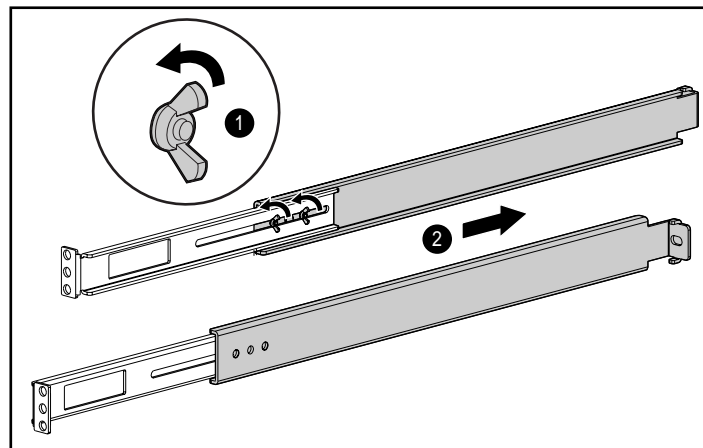


図2-14. ラック マウンティング ブラケットの長さの調節

## 2-12 Compaqコンソール スイッチ ボックス ユーザ ガイド

2. ラック背面の印を付けた穴にケージ ナットを挿入します。

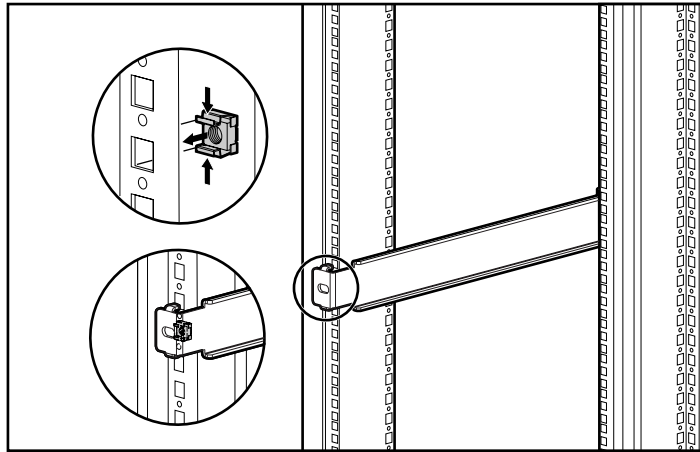


図2-15. ケージ ナットの挿入

3. ラックに調節可能なラック マウンティング ブラケットを挿入し、ラックの背面にある適切な穴にタブを引っ掛け、ラックの前面にあるねじ穴を揃えます。

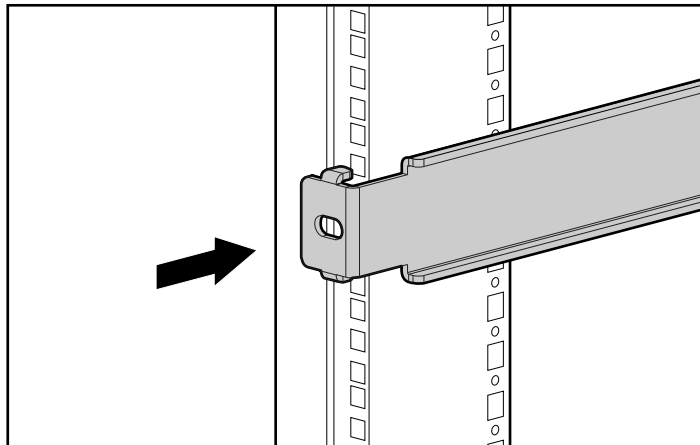


図2-16. マウンティング ブラケットをラックの背面に取り付ける

4. M6ネジを2本使用して、マウンティング ブラケットをラックの前面に固定します。

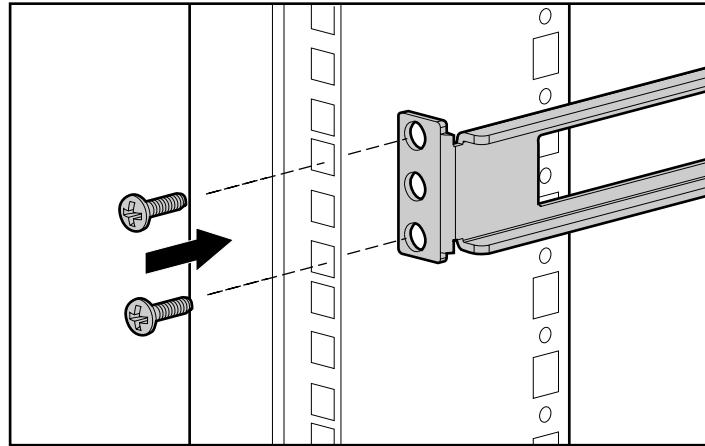


図2-17. マウンティング ブラケットをラックの前面に固定する

5. ウイング ナットをしっかりと締めます。

## ラックマウント インストール

図2-18に示すように、スイッチ ボックスをラック マウンティング ブラケットにスライドさせて押し込み、次にネジを使用して両側を固定します。

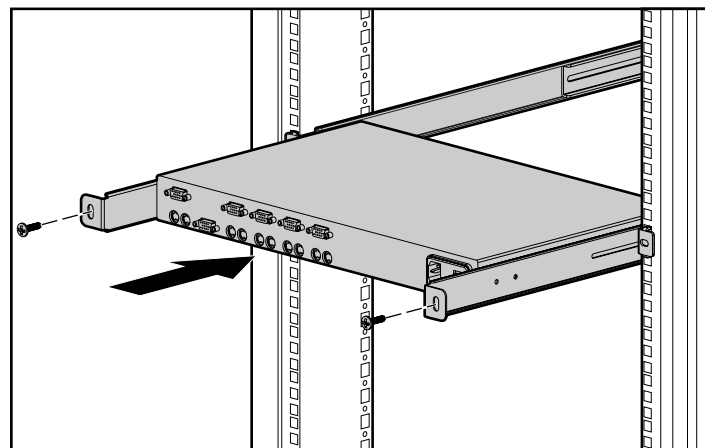


図2-18. スイッチ ボックスをラック マウンティング ブラケットにスライドさせて押し込む

## カバー パネルをインストールする

ユニットを完全にインストールした後で、図2-19に示すように、中央の穴を使用してフロント カバー パネルを固定します。

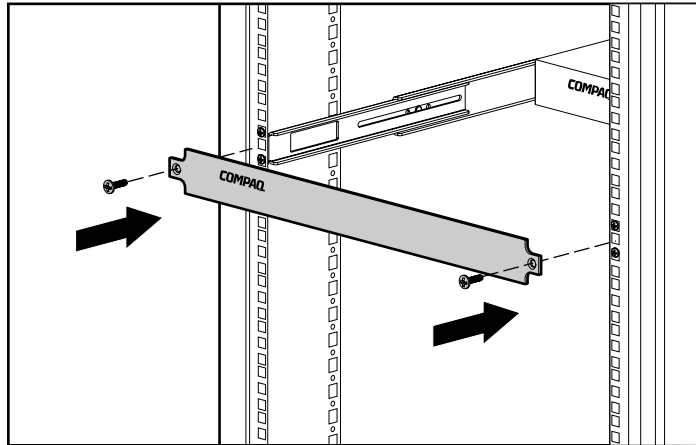


図2-19. フロント カバー パネルの固定

**注:** オプションでスイッチ ボックス コネクタ キットを使用できます。このキットを使用すると、キーボード、モニタ、マウス、電源コードの4ポートまたは8ポート スイッチに前面からアクセスできます。必要ならば、フロント カバー パネルの代わりにこのキットを使用してください。

## インストールの完了

この章で説明したいずれかの方法を使用してコンソール スイッチ ボックスをラックにインストールした後は、「第3章 ケーブル接続」に進んでください。

# 第3章

## ケーブル接続

### ケーブル情報

ケーブルの長さは、キーボードおよびマウスのデータ タイミングだけでなく、ビデオの品質にも影響します。ケーブルの最大長は、使用するコンピュータおよび周辺装置によりある程度決定されます。最大長では満足な結果が得られないシステムもあります。

### ケーブル ロック メカニズム

4ポート、8ポート、およびデュアル コンソール8ポート ユニットの、キーボードとマウス ケーブルのオプションには、確実な接続を提供するためのケーブル ロック メカニズムが付いています。これらのケーブルを切り離す場合は、正しい手順を実行しなければなりません。



**注意:** 正しい手順に従って切り離しを行わないと、ケーブルまたはユニットが損傷する場合があります。

---

## 3-2 Compaqコンソール スイッチ ボックス ユーザ ガイド

キーボードまたはマウス ケーブルを正しく切り離すには、次の手順に従ってください。

- ① カバーを持ちます。
- ② カバーを後ろにずらして、ケーブル ロック メカニズムを外します。
- ③ ケーブルを取り外します。

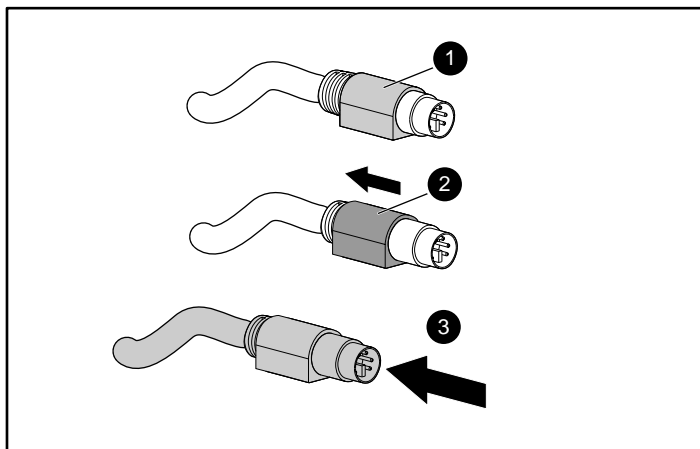


図3-1. キーボードおよびマウス ケーブルの切り離し

ケーブルを挿入するには、適切なコネクタに差し込むだけです。ケーブル ロック メカニズムは自動的にケーブルを所定の位置にロックします。

ケーブルは、次の順序でスイッチ ボックスに接続しなければなりません。

1. マウス
2. モニタ
3. キーボード

このケーブル接続の順序は、後でシステムに新しいデバイスをインストールする場合に特に重要です。マウスおよびキーボードは、システムが稼動中にスイッチ ボックスに接続できます。新しいデバイスを接続すると、スイッチ ボックスはデバイスを認識して、現在選択されているコンピュータ用に設定します。これにより、障害の発生したデバイスを、システムを再起動せずに交換することが可能になります。



スイッチ ボックス システムに変更を加える場合は、ハードウェア コンフィギュレーションの設定を必ず保存しなければなりません。保存していない場合は、電源の消失または切断時にこの設定は失われます。スイッチへの、キーボードおよびマウスの通信を再確立するには、各コンピュータを再起動しなければならない場合があります。ハードウェア設定を保存するには、[Commands]画面で[Snapshot]をクリックします。OSDの使用法の詳細については、第4章を参照してください。

## ケーブルの接続



**警告:** 感電や装置の損傷を防止するために、次の注意を守ってください。

- 電源コードのアース付きプラグは、無効にしないでください。アース付きプラグは、安全上重要な機能です。
- 電源コードは、いつでも簡単に手が届くところにあるアース付きコンセントに接続してください。
- 装置の電源を切る場合は、電源コードをコンセントまたは装置から抜き取ってください。

図3-2～3-5に、各スイッチ ボックスのキーボード、モニタ、およびマウスポートの位置を示します。

1. マウス、ビデオ、およびキーボードのケーブルを、適切なスイッチ コネクタに接続します。キーボードおよびマウスのケーブルはすべて6ピン ミニ DIN PS/2型で、ビデオ ケーブルはすべて15ピンVGA/SVGA型であることに注意してください。（これらのコネクタは、各スイッチ ボックスの背面左側にあり、デュアル コンソール8ポート スイッチには前面に追加のコネクタがあります。）

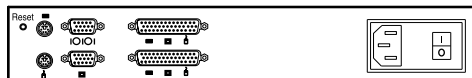


図3-2. 2ポート コネクタ

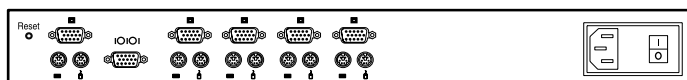


図3-3. 4ポート コネクタ

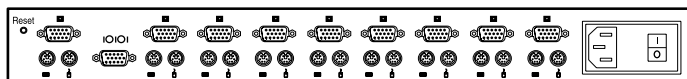


図3-4. 8ポート コネクタ

### 3-4 Compaqコンソール スイッチ ボックス ユーザ ガイド

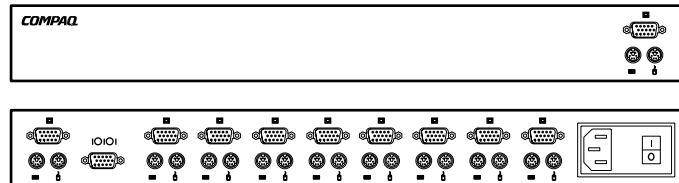


図3-5. デュアル コンソール8ポートACコネクタ

2. ポート1に接続するコンピュータを決定します。
  - a. コンピュータのマウスを、1のラベルが付いたポートの下の適切なコネクタに接続します。
  - b. コンピュータのモニタを、15ピンVGAコネクタに接続します。
  - c. コンピュータのキーボードを適切なコネクタに接続します。
  - d. ケーブルを束ねてラベルを付けて、簡単に識別できるようにします。
3. スイッチ ボックスに接続する他のすべてのコンピュータについて、手順2を繰り返します。



**警告:** 感電や装置の損傷を防止するために、電源コードのアース機能は無効にしないでください。この装置は、オペレータが簡単に手の届くコンセントに接続し、アースして使用するよう設計されています。アース付きプラグは安全上重要な機能です。

4. 電源コードをスイッチ ボックスに接続します。

## スイッチ ボックスの起動動作

サーバの起動時には、サーバのドライバがデバイスの設定をスイッチに送るため、コンピュータの電源を入れる前にスイッチ ボックスの電源を入れることが重要です。起動中に、スイッチ ボックスは次の動作を実行します。

- マウスおよびキーボードを識別して、それらをデフォルト状態にします。
- デフォルトでポート1に切り替えて、モニタ上のステータス フラグに"1"を表示します。ステータス フラグのデフォルト設定がNamesモードに変更されている場合は、ステータス フラグにはポート番号ではなくポート名が表示されます。ステータス フラグがモニタに表示されていない場合は、コンピュータが接続されていて、電源が入っていることを確認してください。

次の手順に従って、システムに電源を入れてください。

1. スイッチ ボックスのリア パネルにある電源スイッチを押して、オン(1)の位置にします。
2. コンピュータの電源を入れます。

## コンピュータの起動動作

起動中に、コンピュータはデバイスの設定をスイッチ ボックスに送ります。スイッチ ボックスは、そのコマンドに対する標準応答を生成して、コンピュータがキーボード、モニタ、マウスに物理的に接続されていなくても正常に起動できるようにします。いったんスイッチ ボックスがインストールされた後は、この設定を不揮発性RAM (NVRAM) に保存することができます。詳細については、第4章を参照してください。

## スイッチ ボックスの設定

スイッチ ボックスの電源を初めて入れる際に、基本的なスイッチ動作のために設定を行う必要はありません。コンピュータに固有の名前を割り当てたり、割り当てられた名前またはポート番号でコンピュータを表示したりといった、ユーザの特定の要求を満足するようにユニットを設定する方法については、第4章を参照してください。

## 自動再起動

停電の後、電源が回復すると、スイッチ ボックスに接続されている各サーバは、オペレータの介入なしに再起動します（そのように設定されている場合）。スイッチ ボックスは、再起動に成功したこと、およびコンピュータを切り替える準備ができたことを確認するための応答を生成します。

## スイッチのリセット

キーボードまたはマウスがロック アップした場合は、背面パネルにあるReset ボタンを押してスイッチをリセットすることができます。Reset ボタンを押すと、コンピュータの電源を入れなおさずに、デバイスの設定を回復できる場合があります。

## 電源が入った状態での接続

スイッチ ボックスに電源が入った状態で、追加のコンピュータを接続することができます。新しく接続されたコンピュータに電源を投入すると、スイッチ ボックスはそのコンピュータを認識し、何もせずに新しいコンピュータに切り替えることができます。

マウスとキーボードも、システムに電源が入った状態で接続することができます。新しいデバイスを接続すると、スイッチはそのデバイスを認識し、現在選択されているコンピュータ用に設定します。この技術により、システムを再起動せずに、障害の発生したデバイスを交換することが可能になります。

**注:** スイッチに新しいコンピュータが追加された場合、または既存の接続が変更された場合は、OSDから[Snapshot]オプションを使用して、新しい設定をNVRAMに保存しなければなりません。

## その他のコンフィギュレーション

他のシステムの構成方法には、カスケード接続コンフィギュレーションおよびデュアル コンソール コンフィギュレーションがあります。

## カスケード接続コンフィギュレーション

カスケード接続されたシステムでは、プライマリ ユニットのポートに追加のスイッチを接続することができます。すなわち、スイッチをプライマリ / セカンダリ コンフィギュレーションにカスケード接続することにより、1台のプライマリ スイッチで、コンピュータおよびその他のスイッチ ユニットの間に切り替えることが可能になります。カスケード接続では、セカンダリ ユニットの物理的キーボード、マウス、およびモニタを、プライマリ ユニットのコンピュータ ポートに接続するだけです。たとえば、1台の8ポート プライマリ ユニットには、8台のセカンダリ スイッチ ユニットを接続することができます。8台のセカンダリ スイッチ ユニットのそれぞれに8台のサーバが接続されたシステムでは、1 × 64の集中制御が提供されます。

カスケード接続コンフィギュレーションの例を図3-6に示します。

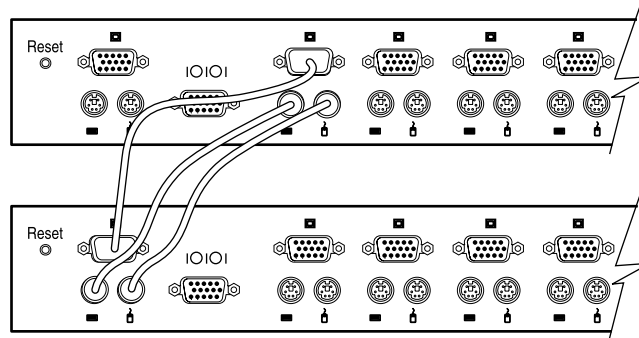


図3-6. カスケード接続コンフィギュレーション

セカンダリ ユニットをマスタ ユニットのいずれかのポートに接続する場合、第5章で説明する「特定のデバイス タイプの割り当て」の手順を実行して、この接続をプライマリ ユニットに指示する必要があります。これに伴って対応するポート番号について、モニター タイプの代わりにセカンダリ ユニットの名称を入力します。4ポート セカンダリ ユニットには**4-Port**という名称を使用し、8ポート セカンダリ ユニットには**8-Port**という名称を使用します。

OSDにより、セカンダリ ポートをプライマリ スイッチのポートとほぼ同等に扱うことができます。各セカンダリ ユニットには、第5章の「コンピュータに固有の名前を割り当てる」の説明に従って名前を付けると便利な場合があります。

## システムに電源が入った状態で カスケード接続を行う

必要な場合は、システムに電源が入った状態でセカンダリ ユニットにプライマリ ユニットを接続することができます。この技術は、システムの中断を最小限にしてあらゆる問題を分離するために使用できます。プライマリ スイッチ ボックスをセカンダリ ユニットに接続するには、最初にマウスとビデオのケーブルを接続し、次にキーボードのケーブルを接続します。プライマリ ユニットは、キーボードの接続をセカンダリ ユニットの電源投入として解釈するので、この接続順序は重要です。この時点で、プライマリ ユニットは初期化コードをセカンダリ ユニットに送信し、デバイス設定を開始させます。

カスケード接続システムの切り替えについては、第4章を参照してください。

## デュアル コンソール コンフィギュレーション

デュアル コンソール コンフィギュレーションは、デュアル コンソール8ポート スイッチを使用することにより実現できます。前の説明と同じ手順で、ケーブルをユニットに接続します。次に、スイッチ ボックスの前面にあるポートを使用して、追加のキーボード、モニタ、およびマウスを接続します。接続モードの切り替えについては、第4章の「[Menu]画面」を参照してください。

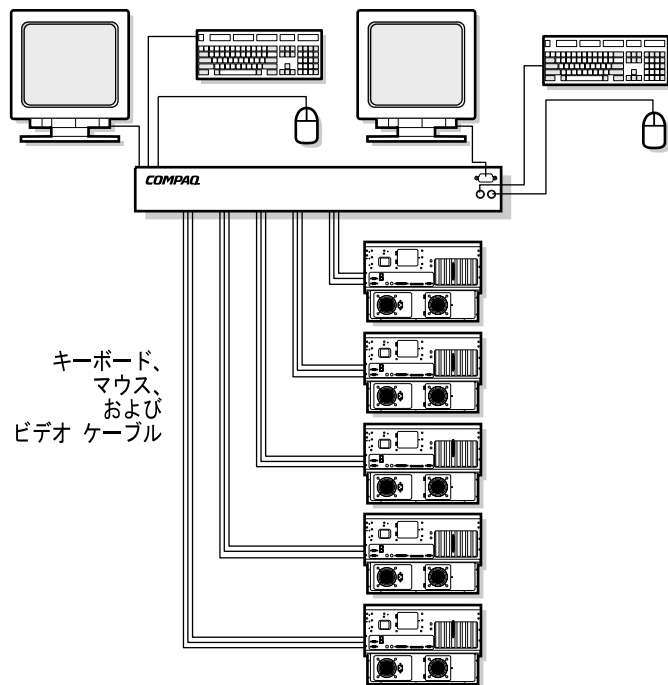


図3-7. ポート デュアル コンソール コンフィギュレーション

## 第4章

# オン スクリーン ディスプレイの使用

## オン スクリーン ディスプレイ

オン スクリーン ディスプレイ (OSD) は、4ポート、8ポート、およびデュアル コンソール8ポート ユニットに対応しています。2ポート スイッチ ボックスを使用している場合は、「第5章 簡易OSDの使用」を参照してください。

## 他の言語

Compaqコンソール スイッチ ソフトウェア ユーティリティCDには、英語以外の言語用にOSDのアップデートが収録されています。このユーティリティの使い方については、CDを参照してください。

**注:** 2ポート スイッチでは他言語選択は使用できません。

## 機能

OSDを使用して、次の基本機能を実行します。

- プライマリ スイッチにセカンダリ スイッチが接続されている場合（カスケード接続）、デバイス タイプを割り当てます
- コンピュータに固有の名前を割り当てます
- デュアル コンソール8ポート スイッチを使用している場合、スイッチ接続モードを選択します
- ハードウェア設定を保存します
- スイッチ システムに関する情報を表示します

その他の機能については、この章の各画面に関する項で説明します。





注: OSDは、コンピュータのオペレーティング システムとは独立して動作します。

## ナビゲーション

マウスとキーボードを使用して、OSDメニューをナビゲートし、コマンドを入力することができます。ただし、スイッチはコンピュータのオペレーティング システムとは独立して動作するため、OSDのキーボードとマウスの規則は、選択されたコンピュータを制御する際の規則とは異なる場合があります。表4-1に、OSDをナビゲートする際に使用される特別な規則を示します。



表4-1  
OSDメニューをナビゲートするための規則

項目	機能
<b>マウス</b>	
左マウス ボタン	コマンドをアクティブにします。行項目を強調表示します。デスクトップのOSDメニューを再配置します（タイトルバーをクリック アンド ドラッグ）
右マウス ボタン	表示画面を閉じて前の画面に戻ります。[Main]画面からOSDを終了します
<b>キーボード</b>	
<b>Print Scrn</b>	OSDの選択画面を開きます*
<b>Page Up/Page Down</b>	名前とポートのリストでページを上下に移動します
<b>Enter</b>	[Main]画面のスイッチ動作を完了して、OSDメニューを終了します
<b>Caps Lock</b>	無効です（大文字小文字の変更にはShiftキーを使用します）
<b>Esc</b>	表示画面を閉じて前の画面に戻ります。[Main]画面からOSDを終了します
<b>Alt</b>	下線付きの文字と組み合わせを使用して、メニューを開くか、動作を実行します
<b>Alt+X</b>	表示画面を閉じます
<b>F1</b>	オンライン ヘルプを開きます
<b>画面</b>	
	名前とポートのリストでページを上下に移動します
	設定を変更せずに、表示画面を閉じて前の画面に戻ります
	各画面のオンライン ヘルプを開きます
	変更を受け入れ、表示画面を閉じ、前の画面に戻ります

\*注: 画面を印刷するには、この章の「画面キャプチャの実行」の項を参照してください。

Print Scrnキーを押してOSDをアクティブにした後は、矢印キーの代わりにマウスを使用してメニュー オプションを強調表示することができます。

## メニューの概要

表4-2に、各OSDメニューから使用できるオプションを示します。

**表4-2**  
**OSDメニュー ツリー**

[Main]メニュー	
Setup	Commands
Scan	Scan Enabled
Menu	Broadcast Active
Flag	Snapshot
Set Flag Position	Reset
Security	Version
Broadcast	
Devices	
Modify	
Names	

それぞれの画面については、次ページ以降で説明します。

## OSDの[Main]画面

**Print Scrn**キーを押すと、OSDメニューが開きます。最初にOSDの[Main]画面が表示されます。

[Main]画面は、システム内のすべてのポート、対応するコンピュータ名、および各ポートのステータスを一覧表示します。デュアル コンソール8ポート スイッチを使用している場合は、ステータス記号の横の[A]または[B]でコンソールを識別できます。

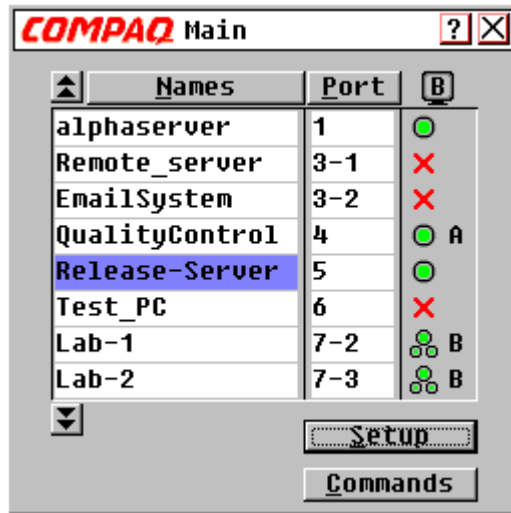







図4-1. OSDの[Main]画面

表4-3  
ステータス ポートの記号

	コンピュータは接続されて動作中です
	接続されているコンピュータは動作中でないか、正しく動作していません
	スイッチはカスケード接続されて動作中です
	カスケード接続されているスイッチは動作中でないか、正しく動作していません
	デュアル コンソール コンフィギュレーションのユーザを識別します
A, B	デュアル コンソール8ポート スwitchのコンソール識別子です

プライマリ ポートは、1つのポート番号で示されています。セカンダリ ポートは、接続されているプライマリ スwitchのポート番号と、それに続くダッシュ、およびセカンダリ ポートの番号で示されています。

表4-4  
[Main]画面の機能

ボタン	クリックによる動作	代替の方法
Names	アルファベット順に名前でソート	Alt+Nを押す
Port	ポート番号でソート	Alt+Pを押す
Setup	[Setup]画面を表示	Alt+Sを押す
Commands	[Commands]画面を表示	Alt+Cを押す

注: 強調表示されているポートは、選択されているデバイスを示します。

## [Setup]画面

[Setup]画面は、コンフィギュレーションを変更するためのメニュー オプションを一覧表示します。



図4-2. [Setup]画面

表4-5  
[Setup]画面の機能

ボタン	クリックによる動作	代わりの方法
Scan	シーケンシャルな、またはカスタマイズされたスキャン パターンを設定	Alt+Sを押す
Menu	表示順序、遅延時間、cooperativeまたはpreemptiveモードを設定	Alt+Mを押す
Flag	フラグ表示をカスタマイズ	Alt+Fを押す
Security	パスワードおよびスクリーン セーバを設定	Alt+Cを押す
Broadcast	キーボードとマウスの同時制御を設定	Alt+Bを押す
Devices	モニタおよびポート設定を確立	Alt+Dを押す
Names	コンピュータに名前を割り当て	Alt+Nを押す

## [Commands]画面

[Commands]画面は、ユーザが起動できる動作を一覧表示します。

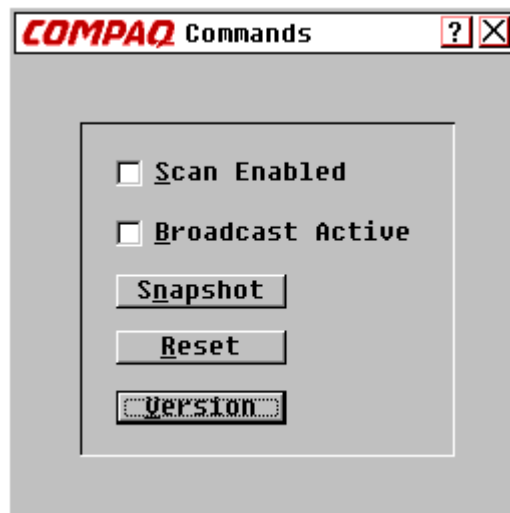


図4-3. [Commands]画面

表4-6  
[Commands]画面の機能

フィールド/ボタン	選択/クリックによる動作	代わりの方法
Scan Enabled	ポートからポートへ自動的にビデオを切り替え	Alt+Sを押す
*Broadcast Active	1つのシステム内で2台以上のコンピュータを同時制御	Alt+Bを押す
**Snapshot	キーボードとマウスの現在の設定を記録	Alt+Nを押す
Reset	マウスとキーボードをデフォルト設定に戻す	Alt+Rを押す
Version	ファームウェアのバージョン情報を表示	Alt+Vを押す

\*注1: [Broadcast Active]を同時に選択できるのは、1ユーザのみです。

\*\*注2: [Snapshot]により、スイッチがコンピュータの起動に使用するマウスとキーボードの情報が保存されます。スイッチ システムのインストール、システムへのコンピュータの追加または削除、あるいはマウス、キーボード、またはモニタの変更を行う際にハードウェアの設定を保存していないと、スイッチへの電源の消失または切断時にハードウェアの設定が失われます。その場合は、各コンピュータを再起動しなければなりません。

## [Version]画面

システムのトラブルシューティングとサポートを簡単に行えるように、スイッチのファームウェアのバージョン番号、およびスイッチに接続されている任意の補助デバイスに関する情報を表示することができます。

[Version]画面には、現在選択されているコンピュータに関する特定のデバイス情報も表示されます。キーボード情報には、有効/無効、キーのリピート速度、LED設定、ポート モード、およびキーボードのタイプが含まれています。マウス情報には、有効/無効、サンプル レート、解像度、およびマウスのタイプが含まれています。

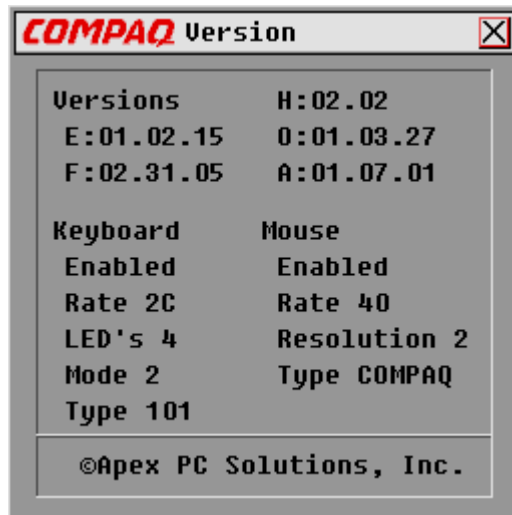


図4-4. [Version]画面

## [Reset]コマンド

スイッチ ユニットは、マウスおよびキーボードの接続およびレート データを保存し、この情報を使用して物理的なマウスおよびキーボードをエミュレートします。スイッチと、マウスおよびキーボードとの間の通信に障害が発生した場合は、選択されたサーバが動作しない場合があります。[Reset]コマンドにより、[Snapshot]で保存されたマウスおよびキーボード情報が取り出されてサーバに送られ、マウスおよびキーボードとの接続が再確立されます。マウスとキーボードをリセットすると、選択されたコンピュータに対する正しい設定の復元が試みられます。

スイッチは物理的なマウスおよびキーボードをエミュレートするので、キーボードとマウスが接続されていないコンピュータが、あたかも物理的デバイスが接続されているかのように動作します。

マウスおよびキーボードの値をリセットするには、[Reset]をクリックしてください。

**注:** これにより問題が修正されない場合は、スイッチの背面パネルにあるResetボタンを押してください。

## [Devices]画面

カスケード接続コンフィギュレーションでシステムに1台以上のセカンダリ スイッチが含まれている場合は、特定のデバイス タイプを割り当て、プライマリ スイッチがセカンダリ スイッチを認識できるようにしなければなりません。さらに、スイッチ システム内の1台以上のコンピュータが特殊なタイプのモニタを持つ場合は、そのコンピュータに対応するポートにそのモニタのタイプを割り当てなければならない可能性があります。

デバイスを変更するには、そのデバイスをダブルクリックするか、強調表示してから[Modify]をクリックします。

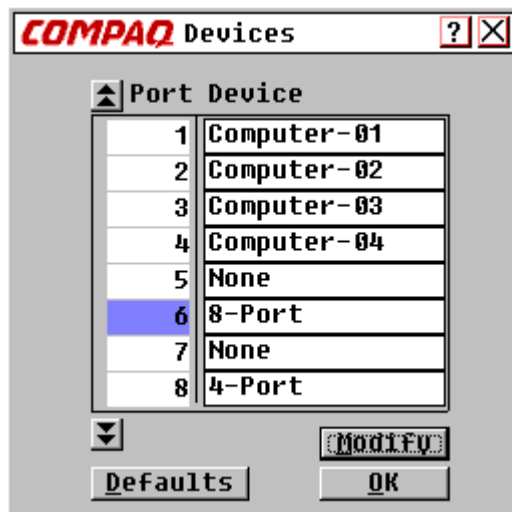


図4-5. [Devices]画面

表4-7  
[Devices]画面の機能

ボタン	クリックによる動作	代わりの方法
Modify	ポート設定を変更するための[Device Modify]画面を表示	Alt+Mを押す
Defaults	デフォルトのデバイス タイプおよびポート設定を使用	Alt+Dを押す
OK	変更を受け入れ、表示画面を閉じ、前の画面に戻る	Alt+Oを押す

注: 強調表示されているポートは、選択されているデバイスを示します。



[Device Modify]画面

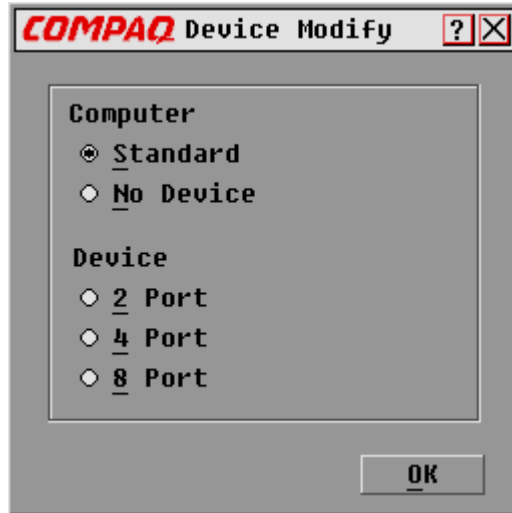


図4-6. [Device Modify]画面

表4-8  
[Device Modify]画面の機能

フィールド/ ボタン	選択/クリックによる動作	代わりの方法
Standard	基本的なコンピュータ接続を使用	Alt+Sを押す
No Device	スイッチもコンピュータも接続されていない場合、[Main]画面のコンピュータのリストからこの番号または名前を削除	Alt+Nを押す
2 Port	2ポート スイッチをセカンダリ システムとして割り当てる	Alt+2を押す
4 Port	4ポート スイッチをセカンダリ システムとして割り当てる	Alt+4を押す
8 Port	8ポート スイッチをセカンダリ システムとして割り当てる	Alt+8を押す
OK	変更を受け入れ、表示画面を閉じ、前の画面に戻る	Alt+Oを押す

## [Names]画面

この画面は、コンピュータをポート番号ではなく名前で識別するために使用します。

注: セカンダリ スイッチに接続されているコンピュータに名前を割り当てる前に、セカンダリ デバイスをポートに関連付けなければなりません。これを行った後は、ポートの番号付け構造が認識されて、セカンダリ ポートがユーザに見えるようになります。この章の「[Devices]画面」および「[Devices Modify]画面」を参照してください。

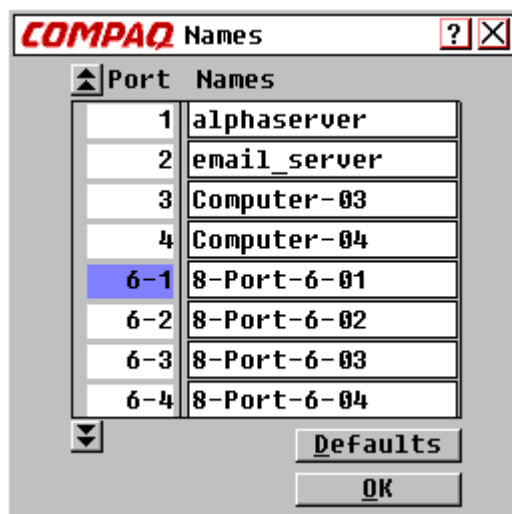


図4-7. [Names]画面

表4-9  
[Names]メニューの機能

ボタン	クリックによる動作	代わりの方法
Defaults	デフォルト設定を復元	Alt+Dを押す
OK	変更を受け入れ、表示画面を閉じ、前の画面に戻る	Alt+Oを押す

注: 強調表示されているポートは、選択されているデバイスを示します。

コンピュータに固有の名前を割り当てるには、次の手順に従ってください。

1. コンピュータのポート番号をクリックします。
2. [Names]フィールドにデバイス名をタイプします。

コンピュータ名は最大15文字で、A~Zの大文字および小文字、0~9、ならびにダッシュを使用できます。誤った入力を削除するには、**Backspace** キーまたは**Delete**キーを押します。上書きするには、行上の任意の場所でカーソルをクリックします。

3. 名前を付ける各コンピュータについて、手順1および2を繰り返します。
4. [OK]をクリックします。

既存のポートまたは名前を編集するには、ポートまたは名前をダブルクリックして、変更を行い、[OK]をクリックします。

## [Menu]画面

この画面は、[Main]画面でのコンピュータの表示順序を設定するために使用します。デュアル コンソール8ポート スイッチを使用している場合は、この画面を使用してスイッチの接続モードを選択します。

注: シングル ユーザ スイッチでは、[Switch Mode]はグレー表示され、[Cooperative] および[Preemptive]は選択できません。

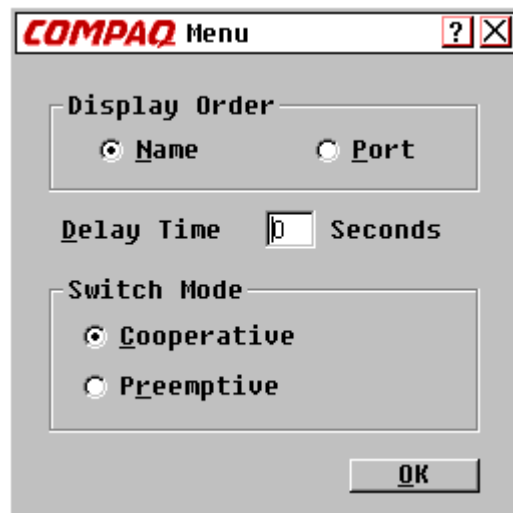


図4-8. [Menu]画面

**表4-10**  
**[Menu]画面の機能**

フィールド/ボタン	選択/クリックによる動作	代わりの方法
<b>Name</b>	コンピュータの表示順序を名前ですорт	<b>Alt+N</b> を押す
<b>Port</b>	コンピュータの表示順序をポート番号ですорт	<b>Alt+P</b> を押す
<b>Delay Time</b>	表示を遅らせる秒数を入力してソフト スイッチ*を可能にする	<b>Alt+D</b> を押す
<b>Cooperative</b>	スイッチは現在のユーザ接続を維持して、他のユーザ コンソールが接続を要求してもこのユーザの接続は切断されない(デフォルト設定)	<b>Alt+C</b> を押す
<b>Preemptive</b>	スイッチは、任意のユーザ コンソールがいつでも任意のコンピュータを選択することを許可	<b>Alt+R</b> を押す
<b>OK</b>	変更を受け入れ、表示画面を閉じて、前の画面に戻る	<b>Alt+O</b> を押す

注: [Delay Time]により、OSDメニューを表示せずにソフト スイッチを完了することが可能になります。この章の「ソフト スイッチの実行」の項を参照してください。

## [Scan]画面

スキャン モードでは、スイッチは、ポートからポートに(コンピュータからコンピュータに)自動的に切り替えます。システム全体をシーケンシャルにスキャンするか、またはコンピュータと持続時間を指定して、カスタム スキャン パターンを指定できます。

デュアル コンソール8ポート スイッチを使用している場合、複数のユーザおよびカスケード接続されたスイッチによりスキャン動作は影響を受けます。プライマリ位置のマルチ ユーザ スイッチおよびセカンダリ位置のシングル ユーザ スイッチにより、スキャン パターンが変わる状況が作られる場合があります。

**例1** - ユーザAはプライマリ スイッチのポート2のセカンダリ スイッチに接続されたコンピュータ2-4にアクセスしていて、ユーザBはプライマリ スイッチのポート1のセカンダリ スイッチに接続されたコンピュータをスキャンします。

**動作** - ポート1のスイッチはスキャンに使用できます。このスイッチにアクセスしているユーザはいません。キーボードで任意のキーが押された場合、またはマウスでクリックが行われた場合、スキャンは停止され、キーストロークまたはマウスの動作は、現在選択されているコンピュータに渡されます。

**例2** - ユーザAはコンピュータ2-4にアクセスしていて、ユーザBはコンピュータ2-4をスキャンしています。

**動作** - ユーザAの動作を監視します。現在選択されているコンピュータに、キーボードやマウスを使用してキーストロークまたはマウスの動作を渡すことはできません。

**例3** - ユーザAはコンピュータ2-4にアクセスしていて、ユーザBはコンピュータ2-6のスキャンを希望しています。

**動作** - スキップします。これは、ユーザAがポート2のプライマリ ポート接続を占有しているため、ユーザBは2-6を使用できないからです。

**例4** - ユーザAはコンピュータ2-4にアクセスしていて、ユーザBはコンピュータ3-2をスキャンします。

**動作** - ポート3のスイッチはスキャンに使用できます。このスイッチにアクセスしているユーザはいません。キーボードで任意のキーが押された場合、またはマウスでクリックが行われた場合、スキャンは停止され、キーストロークまたはマウスの動作は、現在選択されているコンピュータに渡されます。

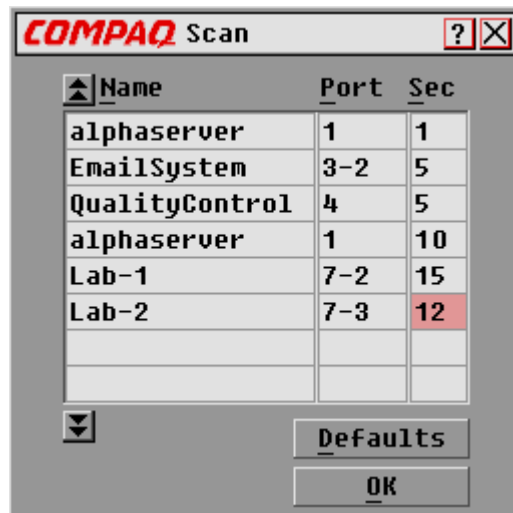


図4-9. [Scan]画面

表4-11  
[Scan]画面の機能

フィールド/ボタン	クリックによる動作	代わりの方法
<b>Names</b>	コンピュータをアルファベット順に名前前でソート	<b>Alt+N</b> を押す
<b>Port</b>	コンピュータをポート番号でソート	<b>Alt+P</b> を押す
<b>Sec</b>	スキャンが次のコンピュータに切り替わる前にコンピュータが選択される時間の長さを入力	<b>Alt+S</b> を押す
<b>Defaults</b>	デフォルト設定に戻す	<b>Alt+D</b> を押す
<b>OK</b>	変更を保存して、前のメニューに戻る	<b>Alt+O</b> を押す

**注:** 強調表示されているポートは、選択されているデバイスを示します。

カスタム スキャン パターンを設定するには、次の手順に従ってください。

1. スキャンに含めたいコンピュータについて、そのコンピュータの名前またはポート番号を、[Name]および[Port]ボックスにタイプします。
2. シーケンスの中で次のコンピュータに切り替わる前にこのコンピュータが選択され続けるようにしたい秒数を、1～255の範囲で[Sec]カラムにタイプします。
3. スキャンに含める残りの各コンピュータについて、これらの手順を繰り返します。
4. [OK]をクリックします。新しいスキャン パターンが、標準または前のカスタム スキャン パターンに置き換わります。

スキャン モードを開始するには、[Commands]画面で[Scan Enabled]を選択します。

スキャン モードをキャンセルするには、[Commands]画面で[Scan Enabled]の選択を解除します。

スキャン リストからコンピュータを削除するには、次の手順に従ってください。

1. スキャン リストから削除したいコンピュータをクリックします。
2. **Delete**キーを押します。

または、

**Shift+Delete**キーを押して、現在のコンピュータおよびその下のすべてのコンピュータを削除します。

3. [OK]をクリックします。

## [Flag]画面

ステータス フラグは、現在選択されているコンピュータの名前またはポート番号を示します。デュアル コンソール8ポート スイッチを使用している場合は、各コンソールが異なるフラグ属性を持つことが可能です。

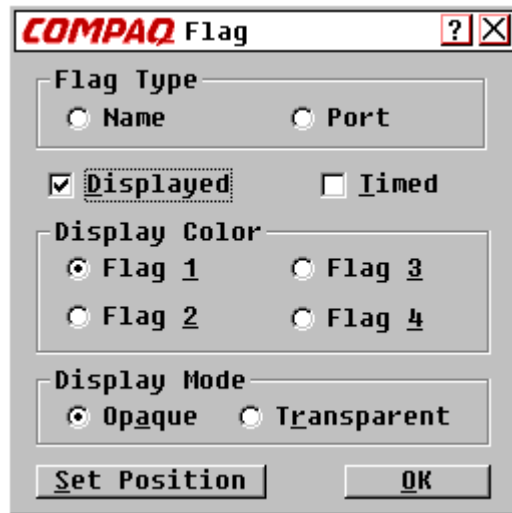


図4-10. [Flag]画面

email-server

図4-11. 名前順にソートされたコンピュータにユーザが接続されていることを示すステータス フラグ

7-1 )))

図4-12. ブロードキャスト機能が有効にされていること、およびポート順にソートされたカスケード接続のコンピュータにユーザが接続されていることを示すステータス フラグ

**表4-12**  
**[Flag]画面の機能**

フィールド/ ボタン	選択/クリックによる動作	代わりの方法
<b>Name</b>	コンピュータを名前で識別	<b>Alt+N</b> を押す
<b>Port</b>	コンピュータをポートで識別	<b>Alt+P</b> を押す
<b>Displayed</b>	常にフラグを表示	<b>Alt+D</b> を押す
<b>Timed</b>	切り替え後、5秒間のみフラグを表示	<b>Alt+T</b> を押す
<b>Flag 1, 2, 3, 4</b>	カラー パレットを選択	<b>Alt+1、2、3、または4</b> を押す
<b>Opaque</b>	フラグがデスクトップ イメージを覆うようにする	<b>Alt+A</b> を押す
<b>Transparent</b>	フラグを通してデスクトップ イメージが見えるようにする	<b>Alt+R</b> を押す
<b>Set Position</b>	画面上にフラグを配置	<b>Alt+S</b> を押す
<b>OK</b>	現在の設定を保存して、前の画面に戻る	<b>Alt+O</b> を押す

ステータス フラグをデスクトップに配置するには、次の手順に従ってください。

1. **[Set Position]**をクリックします。
2. デスクトップのステータス フラグを表示したい場所に、タイトル バーをクリック アンド ドラッグします。
3. **[X]**をクリックしてダイアログ ボックスを終了します。設定が保存されます。



## [Security]画面

セキュリティ機能により、キーボードとモニタをロックできます。キーボードとモニタがロックされている場合、動作を再開する前にパスワードをタイプしなければなりません。また、スクリーンセーバを遅らせる秒数を入力することにより、システムがロックされる前の遅延時間を設定することもできます。

[Security]画面のフィールドにアクセスするには、パスワードを入力しなければなりません。正しいパスワードをタイプすると、画面上の他のフィールドがアクティブになります。デュアルコンソール8ポートスイッチを使用している場合は、各コンソールが異なるパスワードを持つことが可能です。



図4-13. [Security]画面

表4-13  
[Security]画面の機能

フィールド/ボタン	選択/クリックによる動作	代わりの方法
New	新しいパスワードを入力、または現在のパスワードを確認	Alt+Nを押す
Repeat	新しいパスワードを確認	Alt+Rを押す
Enable Screen Saver	スクリーンセーバを有効にする	Alt+Cを押す

続く

表4-13

**[Security]画面の機能** (続き)

フィールド/ボタン	選択/クリックによる動作	代わりの方法
Time Delay	キーボードとモニタがロックされる 前の時間を分単位で入力	Alt+Dを押す
Energy	使用中のモニタが国際エネルギー スター プログラム準拠の場合、省 電力機能を設定 (下記の注意を参 照)	Alt+Eを押す
Screen	モニタをノーマル モードで動作	Alt+Sを押す
Test	スクリーン セーバ モードをただち に開始	Alt+Tを押す
OK	設定を保存し、前のメニューに戻る	Alt+Oを押す



**注意:** 国際エネルギー スター プログラムに準拠していないモニタに [Energy] モードを使用すると、モニタが損傷する場合があります。ご使用のモニタが国際エネルギー スター プログラムに準拠していない場合は、このモードは使用しないでください。

パスワードを変更するには、次の手順に従ってください。

1. [New]フィールドに新しいパスワードをタイプします。パスワードは最大8文字です。パスワードは大文字と小文字を区別し、アルファベットと数字を含むことが可能です。
2. [Repeat]フィールドに新しいパスワードをタイプして、新しいパスワードを確認します。
3. [OK]をクリックします。

キーボードとモニタをロックするには、次の手順に従ってください。

1. [New]フィールドにパスワードをタイプします。
2. [Enable Screen Saver]を選択します。
3. [Time Delay]フィールドに、スクリーン セーバの起動を遅らせたい時間を分単位 (1~254) でタイプします。

4. 使用中のモニタが国際エネルギー スター プログラムに準拠している場合は [Energy] を選択し、そうでない場合は [Screen] を選択します。



**注意:** 国際エネルギー スター プログラムに準拠していないモニタに [Energy] モードを使用すると、モニタが損傷する場合があります。ご使用のモニタが国際エネルギー スター プログラムに準拠していない場合は、このモードは使用しないでください。

5. [Test] をクリックして、スクリーン セーバを表示します。
6. [OK] をクリックします。

コンソールをロックせずにモニタをブランクにするには、次の手順に従ってください。

1. [New] フィールドのテキストを削除して、ボックスを空白のままにします。
2. [Enable Screen Saver] を選択します。
3. [Time Delay] フィールドに、スクリーン セーバの起動を遅らせたい時間を分単位 (1 ~ 254) でタイプします。
4. 使用中のモニタが国際エネルギー スター プログラムに準拠している場合は [Energy] を選択し、そうでない場合は [Screen] を選択します。



**注意:** 国際エネルギー スター プログラムに準拠していないモニタに [Energy] モードを使用すると、モニタが損傷する場合があります。ご使用のモニタが国際エネルギー スター プログラムに準拠していない場合は、このモードは使用しないでください。

5. [Test] をクリックして、スクリーン セーバを表示します。
6. [OK] をクリックします。

**重要:** この操作によりパスワードの使用は無効になります。キーボード上の任意のキーを押すと、コンソールのロックは解除されます。システムは安全ではありません。

スクリーン セーバを無効にするには、次の手順に従ってください。

1. スクリーン セーバ モードで、キーボード上の任意のキーを押し、コンソールがパスワードで保護されている場合はパスワードをタイプします。
2. **Print Scrn** キーを押して、[Main] 画面を表示します。
3. [Setup | Security] をクリックします。
4. [New] フィールドにパスワードをタイプします。
5. [Enable Screen Saver] の選択を解除します。
6. [OK] をクリックします。

## スクリーン セーバ テスト

[OK]をクリックすると、スクリーン セーバ テストが起動されます。10秒後に、[Security]画面に戻ります。

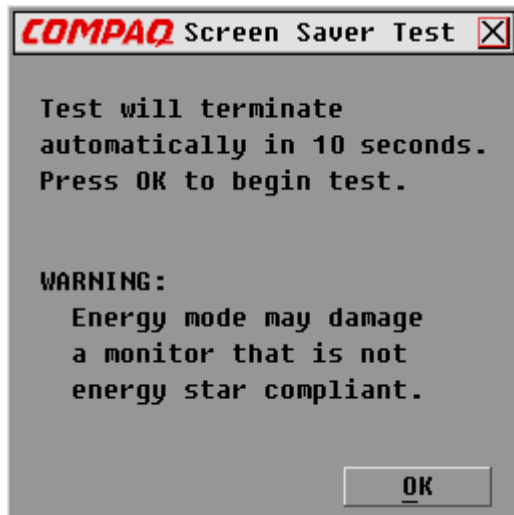


図4-14. スクリーン セーバ テスト

## [Broadcast]画面

ブロードキャスト機能により、システム内の2台以上のコンピュータを同時に制御することができます。この機能は、選択されたすべてのコンピュータが同じ入力を受信するか確認したい場合に便利です。カスケード接続されたシステムでは、システム全体の任意のコンピュータの組み合わせにブロードキャストすることができます。

## キーボード

キーストロークが同一に解釈されるように、ブロードキャストを受信しているすべてのコンピュータでキーボードの状態は同一でなければなりません。特に、Caps LockおよびNum Lockモードは、すべてのキーボードで同じでなければなりません。

## マウス

マウスが正確に動作するには、すべてのシステムが同一のマウス ドライバ、同一のデスクトップ（つまり、同一に配置されたアイコン）、および同一のビデオ解像度を持っていないければなりません。さらに、すべての画面上でマウスは正確に同じ位置になければなりません。これらの条件を達成するのは非常に困難なため、複数のシステムへのマウス動作のプロードキャストにより、予期しない結果が発生する場合があります。

スイッチは、キーストロークおよびマウスの動作を、選択されたコンピュータに同時に送ろうとします。ただし、コンピュータによっては、妨害が発生して転送が遅れる場合があります。

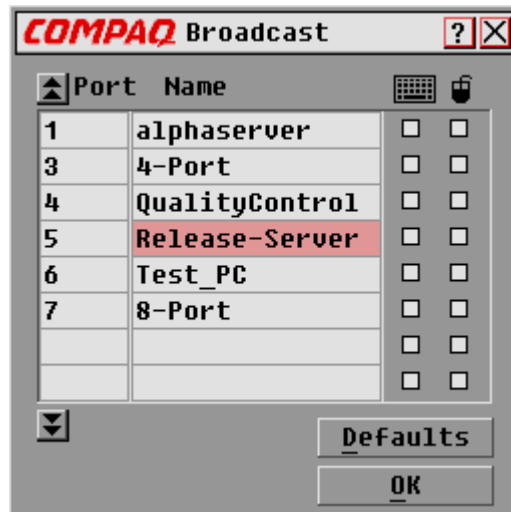


図4-15. [Broadcast]画面

表4-14  
[Broadcast]画面の機能

フィールド/ボタン	選択/クリックによる動作	代わりの方法
Defaults	デフォルト設定（すべてオフ）に戻す	Alt+Dを押す
OK	変更を保存し、前のメニューに戻る	Alt+Oを押す

注: 強調表示されているポートは、選択されているデバイスを示します。

## 4-24 Compaqコンソール スイッチ ボックス ユーザ ガイド

選択されたコンピュータにブロードキャストするには、次の手順に従ってください。

1. キーストロークおよびマウス動作、またはそのいずれかを受信するように、キーボードとマウスのボックス、またはそのいずれかを選択します。
2. **[OK]**をクリックします。
3. **[Commands]**画面で**[Broadcast Active]**を選択すると、ブロードキャストが起動されます。

ブロードキャスト モードをオフにするには、**[Commands]**画面で**[Broadcast Active]**の選択を解除します。

### カスケード接続コンフィギュレーションへのブロードキャスト

カスケード接続されたシステムでは、システム全体の任意のコンピュータの組み合わせにブロードキャストすることができます。

カスケード接続コンフィギュレーションにブロードキャストするには、次の手順に従ってください。

#### セカンダリ スイッチに接続されたコンピュータのセットアップ

1. **[Main]**画面で、ブロードキャスト先のセカンダリ スイッチのコンピュータ名またはポート番号をダブルクリックします。**Print Scrn**キーを2回押します。セカンダリ スイッチの**[Main]**画面が表示されます。
2. **[Setup | Broadcast]**をクリックします。
3. キーストロークおよびマウス動作、またはそのいずれかを受信する各コンピュータについて、キーボードとマウスのボックスをチェックしてから、**[OK]**をクリックします。
4. **[Commands]**画面で、**[Broadcast Active]**を選択して、セカンダリ スイッチのブロードキャスト モードをオンにします。
5. **Print Scrn**キーを押して、プライマリ スイッチの**[Main]**メニューを開きます。
6. 手順1～5を繰り返して、その他のセカンダリ スイッチに接続されたコンピュータにブロードキャスト コマンドを送ります。

#### プライマリ スイッチに接続されたコンピュータのセットアップ

1. プライマリ スイッチの**[Main]**メニューで、**[Setup | Broadcast]**をクリックします。

2. キーストロークおよびマウス動作、またはそのいずれかを受信する各コンピュータについて、キーボードとマウスのボックスをチェックしてから、**[OK]**をクリックします。
3. **[Commands]**画面で、**[Broadcast Active]**を選択して、プライマリ スイッチのブロードキャストモードをオンにします。
4. プライマリ スイッチおよびセカンダリ スイッチに接続されているユーザコンソールから、ブロードキャストしたい情報をタイプしマウスの動作を実行するか、またはそのいずれかを行います。

**注:** ブロードキャストは、プライマリ スイッチに直接接続されたシステムのみ、またはプライマリ スイッチに接続されたセカンダリ スイッチに直接接続されたシステムのみに行ってください。

カスケード接続コンフィギュレーションのブロードキャストモードをオフにするには、次の手順に従ってください。

1. プライマリ スイッチの**[Commands]**画面で、**[Broadcast Active]**の選択を解除します。
2. **[Main]**画面で、コマンドのブロードキャストを停止したいセカンダリ スイッチのポート番号または名前をダブルクリックします。**Print Scrn**キーを2回押します。セカンダリ スイッチの**[Main]**画面が表示されます。
3. **[Commands]**をクリックします。
4. **[Broadcast Active]**の選択を解除します。

## セカンダリ スイッチのOSDへのアクセス

スイッチ システムのコンフィギュレーションは、プライマリ スイッチで行われます。すべての名前付け、スキャン、ステータス フラグ属性、メニュー属性、デバイス設定、パスワード等は、プライマリ スイッチで設定しなければなりません。セカンダリ スイッチのOSDに設定されている工場出荷時のデフォルトは変更しないでください。変更すると、セカンダリ スイッチとプライマリ スイッチの間で衝突が発生する可能性があります。

セカンダリ スイッチのOSDメニューには、次の操作のためにアクセスします。

- ファームウェアのバージョン情報のチェック
- ブロードキャスト機能のセットアップ
- カスケード接続コンフィギュレーションに他のレベルのセキュリティを追加
- **[Snapshot]**を使用して、セカンダリ スイッチでハードウェア設定を保存
- セカンダリ スイッチのマウスおよびキーボード情報をリセット

セカンダリ スイッチの[Main]画面を開くには、次の手順に従ってください。

1. **Print Scrn**キーを押して、プライマリ スイッチの[Main]画面を開きます。
2. アクセスしたいカスケード接続ポートの番号をダブルクリックするか、カスケード接続ポートを強調表示して**Print Scrn**キーを押します。セカンダリ スイッチの[Main]画面が表示されます。

## コンピュータ間の切り替え

コンソール スイッチ ボックスを使用したコンピュータ間の切り替えは簡単です。切り替えにより、キーボード、マウス、モニタは1台のコンピュータから切り離され、他のコンピュータに接続されます。

2台のコンピュータ間で切り替える場合、コンソール スイッチ ボックスは、メモリに保存された設定を使用して、キーボードとマウスを再設定します。たとえば、現在選択されているコンピュータでは**Caps Lock**がオンで、ユーザが切り替えようとしている2番目のコンピュータでは**Caps Lock**がオフの場合、ユニットは**Caps Lock**をオフにして2番目のコンピュータの設定に合わせます。

コンピュータを切り替えるには、次の手順に従ってください。

1. **Print Scrn**キーを押して、[Main]メニュー画面を表示します。
2. コンピュータ名またはポートをダブルクリックします。

または、

ポートを強調表示して、**Enter**キーを押します。

または、

ポート番号をタイプするか、コンピュータ名を識別できる最初のいくつかの文字をタイプしてから、**Enter**キーを押します。

## ソフト スイッチの実行

OSDメニューを開いた後は、OSDメニューを表示せずにコンピュータ間を切り替えることができます。ソフト スイッチを実行するには、次の手順に従ってください。

1. [Setup | Menu]をクリックします。
2. **Print Scrn**キーを押した後で[Main] OSDメニューが表示されるまでの遅延時間をタイプします。
3. [OK]をクリックします。
4. [Main]メニュー画面で、ポート番号をタイプするか、コンピュータ名を識別できる最初のいくつかの文字をタイプしてから、**Enter**キーを押します。



5. 別のコンピュータに切り替えるには、**Print Scrn**キーを押して、ポート番号またはコンピュータ名を識別できる最初のいくつかの文字をタイプします。遅延時間が切れる前に切り替えが実行された場合、OSDメニューは表示されません。

## 画面キャプチャの実行

コンソール スイッチ ボックス システムでは、**Print Scrn**キーを押すとOSDメニューが開きます。コンピュータにより表示される画面キャプチャを印刷するには、次の手順を使用してください。

- プライマリ スイッチに接続されているコンピュータの場合：**Print Scrn**キーを2回押します。最初のキーストロークで、プライマリ スイッチのOSDメニューが開きます。2回目のキーストロークで、画面がクリアされ、キーストロークが他のデバイスに送られて、画面のキャプチャまたは印刷が実行されます。
- カスケード接続コンフィギュレーションのセカンダリ スイッチに接続されているコンピュータの場合：**Print Scrn**キーを4回押します。最初のキーストロークで、プライマリ スイッチのOSDが表示されます。2回目のキーストロークで、セカンダリ スイッチのOSDが表示されます。3回目のキーストロークで、両方のOSDが表示されます。4回目のキーストロークで、画面がクリアされ、画面のキャプチャまたは印刷が実行されます。

# 第5章

## 簡易OSDの使用

簡易OSDは、2ポートスイッチ専用です。

### OSDの起動

**Print Scrn**キーを押すと、キーボード/モニタ/マウスOSDメニューにアクセスします。コンピュータにより表示される画面キャプチャを印刷するには、次の手順に従ってください。

### 画面キャプチャの実行

- **プライマリ** スイッチに接続されたコンピュータでは、**Print Scrn**キーを2回押します。

最初のキーストロークで、**プライマリ** スイッチの簡易OSDメニューが開きます。2回目のキーストロークで、画面がクリアされ、画面のキャプチャまたは印刷が実行されます。

- カスケード接続コンフィギュレーションの**セカンダリ** スイッチに接続されたコンピュータでは、**Print Scrn**キーを4回押します。

最初のキーストロークで、**プライマリ** スイッチの簡易OSDが表示されます。2回目のキーストロークで、**セカンダリ** スイッチの簡易OSDが表示されます。3回目のキーストロークで、両方の簡易OSDが表示されます。4回目のキーストロークで、画面がクリアされ、画面のキャプチャまたは印刷が実行されます。

## 簡易OSDの[Selection]画面

**Print Scrn**キーを押して簡易OSDメニューを開いた場合、最初に表示される画面は、簡易OSDの[Selection]画面です。コンピュータの選択や、ポート/コンピュータのステータスのチェックなどの基本機能は、[Selection]画面で実行されます。

[Selection]画面は、システム内のすべてのポート、対応するコンピュータ名、および各ポートのステータスを一覧表示します。この画面は、ポート番号またはコンピュータ名により編成することができます。コンピュータを名前で識別するには、この章の「コンピュータに固有の名前を割り当てる」の項を参照してください。リストにコンピュータが表示される順序を変更するには、「メニュー属性の変更」の項を参照してください。大規模システムでは、矢印キーまたは**Page Down**キーを使用して、ポートのリストをスクロールしなければならない場合があります。

### プライマリ スイッチの簡易OSDを開く、または簡易OSDの[Selection]画面にアクセスする

1. **Print Scrn**キーを押して、プライマリ スイッチの簡易OSD [Selection]画面にアクセスします。
2. アクセスしたいポートの番号を強調表示します。**Print Scrn**キーを押します。セカンダリ スイッチの簡易OSDの[Selectoin]画面が表示されます。

SELECTION SCREEN			
Port		Name	
	1	COMPUTER 1	+
	2	COMPUTER 2	
F1 Help		F2 Advanced	

図5-1. [Selection]画面

セカンダリ スイッチの簡易OSDに設定されている工場出荷時のデフォルトは変更しないでください。変更すると、セカンダリ スイッチとプライマリ スイッチの間で衝突が発生する可能性があります。

## 簡易OSDのステータス ポートの記号

- + コンピュータが接続されて動作中です。
- x セカンダリ スイッチが接続されて動作中です。

注: このガイドの簡易OSD画面は一例です。実際の画面は、コンフィギュレーションにより異なる場合があります。

## 簡易OSDの[Advanced Menus]画面

コンピュータの選択以外のコマンドはすべて、簡易OSDの[Advanced Menus]から実行します。[Advanced Menus]画面には2つのメニューがあります。[Commands]メニューには、動作を実行するコマンドが表示されます。[Setup]メニューには、コンフィギュレーションを設定するためのメニュー画面が表示されます。

## 簡易OSDの[Advanced Menus]を開く

1. **Print Scrn**キーを押して、簡易OSDの[Selection]を開きます。
2. **F2**キーを押します。

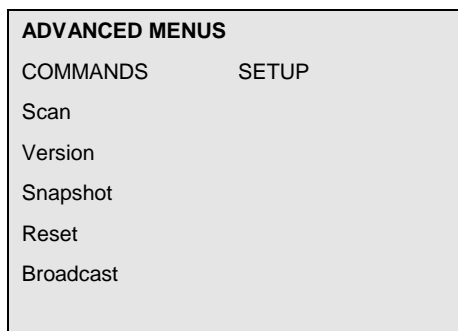


図5-2. [Advanced Menus]の[Commands]

## 5-4 Compaqコンソール スイッチ ボックス ユーザ ガイド

ADVANCED MENUS	
COMMANDS	SETUP
	Scan
	Names
	OSD
	Flag
	Devices
	Security
	Broadcast

図5-3. [Advanced Menus]の[Setup]

簡易OSDの[Advanced Menus]画面が表示され、[Commands]メニューの下にコマンドのリストが表示されます。[Setup]を強調表示すると、スイッチの設定に使用できる選択画面が表示されます。いずれかのメニューで、矢印キーまたはマウスを使用して強調表示を移動すると、特定のコマンドまたはメニュー画面が選択されます。

**注:** ブロードキャストオプションは、2ポート スイッチでは使用できません。

### 簡易OSDを終了する

簡易OSDを終了するには、**Esc**キーを押します。

### コンピュータの選択

簡易OSDメニューを使用して、コンピュータを切り替えます。すなわち、コンソールからコマンドを受信し、コンソールに出力を表示するコンピュータを選択します。コンピュータを選択すると、スイッチは、メモリに保存された設定を使用して、選択されたコンピュータ用にキーボードとマウスを再設定します。システム内の各コンピュータについて、現在の情報（たとえば、**Caps Lock**キーの状態）が保持されています。設定が完了すると、選択されたコンピュータのビデオ出力がモニタに送られます。

## コンピュータを切り替える

1. 簡易OSDの[Selection]画面で、コンピュータがポート番号で並べられている場合は、切り替え先のコンピュータのポート番号をタイプします。  
または、  
矢印キーまたはマウスを使用して、コンピュータを選択します。  
または、  
コンピュータが名前でも並べられている場合は、コンピュータ名を識別できる最初のいくつかの文字をタイプしてコンピュータを選択します。コンピュータを名前で識別するには、「コンピュータに固有の名前を割り当てる」の項を参照してください。
2. **Enter**キーを押します。
3. 切り替えが完了したら、**Esc**キーを押して簡易OSDを終了し、簡易OSDメニューをモニタ表示から削除します。ステータス フラグが有効にされている場合は、現在選択されているコンピュータを示すために表示されたままになります。

## コンピュータに固有の名前を割り当てる

システム内のコンピュータは、ポート番号ではなく名前で識別する方が簡単な場合があります。たとえば、ネットワーク環境で、ネットワークで各コンピュータに割り当てられた名前と同じ名前を割り当てることができます。簡易OSDメニューでコンピュータを名前でリストするには、「メニュー属性の変更」の項を参照してください。

**注:** セカンダリ スイッチに接続されたコンピュータに名前を割り当てる前に、セカンダリ デバイスをポートに関連付けなければなりません。「特定のデバイス タイプの割り当て」の項を参照してください。

## 5-6 Compaqコンソール スイッチ ボックス ユーザ ガイド

コンピュータに固有の名前を割り当てるには、次の手順に従ってください。

1. [Advanced Menus]画面で、強調表示を[Setup]メニューに移動します。
2. [Names]を強調表示して、**Enter**キーを押します。[Port Name Setup]画面が表示されます。

PORT NAME SETUP	
Port	Name
1	COMPUTER 1
2	COMPUTER 2

図5-4. [Port Name Setup]画面

3. コンピュータ名を入力または変更したいポート番号を選択します。
4. コンピュータの名前をタイプします。

コンピュータ名は最大12文字で、A~Z、0~9、およびダッシュを使用できます。小文字は大文字に変換されます。誤った入力を削除するには、**Backspace**キーを押します。

5. 必要ならば、システム内の各コンピュータについて手順3および4を繰り返します。
6. **Enter**キーを押して、設定を保存し、メニューを終了します。

または、

**F10**キーを押してデフォルト設定を復元します。

または、

**Esc**キーを押して、設定を保存せずにメニューを終了します。

## メニュー属性の変更

簡易OSDの[Attributes]画面では、コンピュータ ポートの表示順序を、ポート番号からポート名に変更することができます。位置や色などの、簡易OSD画面のその他の属性は、システムの使用状況に合わせて変更できます。

メニュー属性を変更するには、次の手順に従ってください。

1. [Advanced Menus]画面で、強調表示を[Setup]メニューに移動します。
2. [OSD]を強調表示して、**Enter**キーを押します。簡易OSDの[Attributes]画面が表示されます。

OSD ATTRIBUTES	
Resolution	320
Height	56
Horizontal	3
Vertical	4
Background	7
Highlight	6
Text	0
Delay Time	0
Order	PORT

図5-5. [OSD Attributes]画面

3. 変更したい設定を強調表示し、+または-キーを使用して希望する値にします。他の値を選択すると、その変更はただちに表示に反映されます。表5-1に、使用可能な各メニュー属性についての説明を示します。

注: 簡易OSD属性の変更中に、メニューと画面が混乱し、問題を修正できなくなる場合があります。この場合は、次のキーを押して、スイッチをデフォルトの簡易OSD値にリセットしてください。

**Esc+Esc+Print Scrn+F10+Y+Enter**

4. **Enter**キーを押して、設定を保存し、メニューを終了します。  
 または、  
**F10**キーを押してデフォルト設定を復元します。  
 または、  
**Esc**キーを押して、設定を保存せずにメニューを終了します。



## 画面表示への設定の影響

表5-1  
画面表示の設定

変更対象	選択	値
画面のサイズ	Resolution	320、480、または640を選択。値が小さいほどサイズは大きくなります
テキスト サイズ	Height	値が大きいほどテキスト表示は大きくなります
画面の位置	Horizontal	0 ~ 127
	Vertical	0 ~ 255
画面およびテキストの色	Background	0 ~ 7
	Highlight	0 ~ 7
	Text	0 ~ 7
簡易OSDのタイミング	Delay Time	<b>Print Scrn</b> キーを押した後で[Selection]画面が表示されるまでの遅延時間の秒数。遅延時間を長くすることで、簡単なコンピュータの切り替え動作を行う際の画面の混乱を防ぐことができます
コンピュータの順序	Order	コンピュータを、ポート番号または名前のアルファベット順にリストすることを選択します

## ステータス フラグ属性の変更

ステータス フラグは、現在選択されているコンピュータの名前またはポート番号を示します。ステータス フラグは、常に表示、切り替え後の数秒間表示、またはまったく表示しないことを選択できます。また、ステータス フラグの色と画面上の位置も変更できます。

ステータス フラグの属性を変更するには、次の手順に従ってください。

1. [Advanced Menus]画面で、強調表示を[Setup]メニューに移動します。
2. **[Flag]**を強調表示して、**Enter**キーを押します。[Flag Configuration]画面が表示されます。

FLAG CONFIGURATION	
Enabled	PORTS ON
Row	14
Column	1
Color	2
Text	0
Mode	OPAQUE

図5-6. [Flag Configuration]画面

3. 変更したい設定を強調表示し、**+**または**-**キーを使用して値を調節します。表5-2に、使用可能な各メニュー属性についての説明を示します。
4. **Enter**キーを押して設定を保存し、メニューを終了します。  
または、  
**F10**キーを押してデフォルト設定を復元します。  
または、  
**Esc**キーを押して、設定を保存せずにメニューを終了します。

## フラグ表示の値および設定の影響

表5-2  
フラグ表示の設定

設定	値	影響
Enabled	Flag Off	フラグは表示されません
	Ports On	選択されたポート番号を示します
	Names On	選択されたコンピュータを名前で示します
	Ports Timed	切り替え後の5秒間、ポート番号を表示します
	Names Timed	切り替え後の5秒間、名前を表示します
Row	0 ~ 14	フラグを画面上に垂直に配置します
Column	0 ~ 25	フラグを画面上に水平に配置します
Color	0 ~ 7	フラグの色を設定します
Text	0 ~ 7	フラグのテキストの色を設定します
Mode	Opaque	フラグを不透明にします
	Transparent	フラグを透明にします

## コンピュータのスキャン

スキャン モードでは、スイッチは、ポートからポートに（コンピュータからコンピュータに）自動的に切り替えます。システム全体をシーケンシャルにスキャンすることも、コンピュータと持続時間を指定して、カスタム スキャンのパターンを指定することもできます。

## スイッチをスキャン モードにする

スイッチをスキャン モードにするには、次の手順に従ってください。

1. [Advanced Menus]画面の[Commands]メニューで、[Scan]に強調表示を移動します。
2. **Enter**キーを押します。

## スキャン モードをキャンセルする

任意のキー（**Print Scrn**キーを除く）を押すか、マウスを移動します。スキャンは、現在選択されているコンピュータで停止します。

## カスタム スキャン パターンを設定する

カスタム スキャン パターンを設定するには、次の手順に従ってください。

1. [Advanced Menus]画面で、強調表示を[Setup]メニューに移動します。
2. [Scan]を強調表示して、**Enter**キーを押します。[Scan Pattern Setup]画面が表示され、最初のポート位置（またはコンピュータ名）が強調表示されます。

SCAN PATTERN SETUP		
Port	Sec	Name
1	20	Computer 1
2	20	Computer 2
F2 for defaults		

図5-7. [Scan Pattern Setup]画面

3. スキャンに含める最初のコンピュータのポート番号をタイプします。  
または、  
コンピュータが名前でもリストされている場合は、スキャンに含める1台目のコンピュータの名前を識別できる最初のいくつかの文字をタイプします。
4. [Sec]カラムに強調表示を移動して、シーケンスの中で次のコンピュータに切り替わる前にこのコンピュータが選択されたままにしたい秒数をタイプします。
5. 強調表示を次の行に移動し、残りの各コンピュータについて手順3および4を繰り返します。
6. **Enter**キーを押して設定を保存し、メニューを終了します。新しいスキャンパターンが、標準または前のカスタム スキャン パターンに置き換わります。  
または、  
**F10**キーを押してデフォルト設定を復元します。  
または、  
**Esc**キーを押して、設定を保存せずにメニューを終了します。

## スキャン リストからコンピュータを削除する

スキャン リストからコンピュータを削除するには、次の手順に従ってください。

1. [Scan Pattern Setup]画面で、削除するコンピュータのポート番号をタイプします。

または、

コンピュータが名前でもリストされている場合は、コンピュータの名前を識別できる最初のいくつかの文字をタイプします。

2. [Sec]カラムに強調表示を移動します。
3. 秒数として0をタイプします。

[Scan Pattern Setup]画面で、**Delete**キーを押して、強調表示されているコンピュータおよびその下のすべてのエントリを削除します。

4. **Enter**キーを押して設定を保存し、メニューを終了します。新しいスキャンパターンが、標準または前のカスタム スキャン パターンに置き換わります。

または、

**F10**キーを押してデフォルト設定を復元します。

または、

**Esc**キーを押して、設定を保存せずにメニューを終了します。

## サーバ アクセスのセキュリティ設定

高度なサーバ アプリケーションは、権限のないユーザに対して保護しなければなりません。スイッチのセキュリティ機能により、キーボードおよびモニタをロックして、動作を再開する前にパスワードの入力を要求することができます。また、システムがロックされる前の遅延時間を設定することもできます。

[Security Configuration]画面のフィールドにアクセスするには、パスワードを入力する必要があります。正しいパスワードをタイプすると、画面上の他のフィールドがアクティブになります。

## 画面およびキーボードをロックする

画面とキーボードをロックするには、次の手順に従ってください。

1. [Advanced Menus]画面で、強調表示を[Setup]メニューに移動します。
2. **[Security]**を強調表示して、**Enter**キーを押します。[Security Configuration]画面が表示されます。

SECURITY CONFIGURATION	
Password	-----
New password	-----
Repeat new	-----
Time Delay	OFF
Mode	SCREEN
Test	

図5-8. [Security Configuration]画面

3. パスワードをタイプして、**Enter**キーを押します。

パスワードは最大8文字です（大文字と小文字を区別します）。確認のため、新しいパスワードは2回入力しなければなりません。

**注:**工場出荷時のデフォルトのパスワードはOSCARです。デフォルトでは**Caps Lock**は無効になっているので、**Shift**キーを押しながら各文字をタイプしてください。

4. **[Time Delay]**を強調表示し、スクリーン セーバをオンにする前の遅延時間を、1～254の分単位で選択します。

## 5-14 Compaqコンソール スイッチ ボックス ユーザ ガイド

5. [Mode]を強調表示します。国際エネルギー スター プログラムに準拠しているモニタを使用している場合は[Energy]を選択し、それ以外のタイプのモニタを使用している場合は[Screen]を選択します。



**注意:** 国際エネルギー スター プログラムに準拠していないモニタに [Energy]モードを使用すると、モニタが損傷する場合があります。

6. スクリーン セーバ モードを有効にするには、[Time Delay]または[Mode]フィールドのいずれかでEnterキーを押します。

または、

[Test]を強調表示してEnterキーを押すと、スクリーン セーバ モードがただちに起動します。表5-3に、可能な設定を示します。

**表5-3**  
**[Security Configuration]の設定**

設定	動作
Password	現在のパスワードを入力すると、他のフィールドがアクティブになります
New Password	新しいパスワードをタイプします
Repeat new	確認のため新しいパスワードを再タイプします
Time Delay	1～254分の値を設定するか、OFFを選択します
Mode	Energy モニタをオフにします。遅延時間を経過すると低電力モードに入る国際エネルギー スター プログラムに準拠しているモニタのみに使用してください Screen 遅延時間を経過するとビデオをオフにします。国際エネルギー スター プログラムに準拠しないモニタに使用してください
Test	選択されたモードをただちにアクティブにします



**注意:** 国際エネルギー スター プログラムに準拠していないモニタに [Energy]モードを使用すると、モニタが損傷する場合があります。

## スクリーン セーバをオフにする

スクリーン セーバをオフにするには、次の手順に従ってください。

1. スクリーン セーバ モードになっている場合は、キーボード上の任意のキーを押し、コンソールがパスワードで保護されている場合はパスワードをタイプします。
2. [Advanced Menus]画面で、強調表示を[Setup]メニューに移動します。
3. [Security]を強調表示して、**Enter**キーを押します。[Security Configuration]画面が表示されます。
4. [Time Delay]を強調表示して、[OFF]を選択します。**Enter**キーを押します。

## コンソールをロックせずにモニタをブランクにする

コンソールをロックせずにモニタをブランクにするには、次の手順に従ってください。

1. スクリーン セーバ モードになっている場合は、キーボード上の任意のキーを押し、コンソールがパスワードで保護されている場合はパスワードをタイプします。
2. [Advanced Menus]画面で、強調表示を[Setup]メニューに移動します。
3. [Security]を強調表示して、**Enter**キーを押します。[Security Configuration]画面が表示されます。
4. [Security Configuration]画面で、[New Password]および[Repeat New]フィールドを空にして**Enter**キーを2回押します。
5. 変更したい設定を強調表示し、+または-キーを使用して値を調節します。
6. [Test]を強調表示して**Enter**キーを押すと、スクリーン セーバ モードがただちに起動します。

この操作によりパスワードの使用は無効になります。キーボード上の任意のキーを押すと、コンソールのロックは解除されます。**コンピュータは権限のないユーザに対して保護されなくなります。**

## バージョン情報の表示

システムのトラブルシューティングとサポートを簡単に行うために、スイッチファームウェアのバージョン番号、およびスイッチに接続されている任意の補助デバイスについての情報を表示することができます。

[Version]画面には、現在選択されているコンピュータに関する特定のデバイス情報も表示されます。キーボードについては、有効/無効、キーのリピート速度、LED設定、ポート モード、およびキーボードのタイプが含まれ、マウスについては、有効/無効、サンプル レート、解像度、およびマウスのタイプが含まれています。



## 5-16 Compaqコンソール スイッチ ボックス ユーザ ガイド

バージョン情報およびデバイスの設定を表示するには、次の手順に従ってください。

1. [Advanced Menus]画面の[Commands]メニューで、強調表示を[Version]に移動して**Enter**キーを押します。[Version]画面が表示されます。

VERSION			
Firmware		x.x.x	
Hardware		x x x	
Dip Switch F			
Port 1		COMPUTER 1	
Keyboard		Mouse	
ENABLED		DISABLED	
Rate	2C	Rate	100
LEDs	2	Res	2
Mode	2		
Type	101	Type	Gen

図5-9. [Version]画面

2. 補助デバイスについてのバージョン情報を表示するには、**F2**キーを押します。
3. **Esc**キーを押して[Version]画面を閉じます。

## ハードウェア設定の保存

システムにコンピュータを追加または削除する場合、あるいはマウスまたはモニタを変更する場合は、ハードウェアの設定を保存しなければなりません。設定を保存していないと、電源の消失または切断時にハードウェアの設定が失われます。その場合、各コンピュータを再起動してキーボードとマウスの通信を再確立しなければならない可能性があります。

ハードウェアの設定を保存するには、次の手順に従ってください。

1. [Advanced Menus]画面の[Commands]メニューで、[Snapshot]を強調表示します。
2. **Enter**キーを押します。

## マウスおよびキーボードのリセット

キーボードまたはマウスがロック アップした場合は、スイッチをリセットすることによりデバイスの設定を回復できる可能性があります。マウスとキーボードをリセットすると、選択されたコンピュータに対する正しい設定の復元が試みられます。

マウスおよびキーボードの値をリセットするには、次の手順に従ってください。

1. [Advanced Menus]の[Commands]メニューで、**[Reset]**を強調表示して、**Enter**キーを押します。
2. 手順1で問題が修正されない場合は、スイッチの背面パネルにあるResetボタンを押してください。

## 特定のデバイス タイプの割り当て

カスケード接続コンフィギュレーションでシステムに1台以上のセカンダリ スイッチが含まれている場合は、特定のデバイス タイプを割り当て、プライマリ スイッチがセカンダリ スイッチを認識できるようにしなければなりません。さらに、システム内の1台以上のコンピュータが、特殊なタイプのモニタまたはその他のデバイスを必要とする場合は、そのコンピュータに対応するポートにそのデバイス タイプを割り当てなければならない可能性があります。

デバイス タイプを割り当てるには、次の手順に従ってください。

1. [Advanced Menus]画面で、強調表示を[Setup]メニューに移動します。
2. **[Devices]**を強調表示して、**Enter**キーを押します。[Device Settings]画面が表示されます。

DEVICE SETTINGS	
Port	Monitor
1	SVGA
2	SVGA

図5-10. [Device Settings]画面

## 5-18 Compaqコンソール スイッチ ボックス ユーザ ガイド

3. ポートにセカンダリ スイッチを割り当てるには、ポートを強調表示し、+ または-キーを使用して適切な値にします。

または、

モニタ タイプを割り当てるには、希望するポートを強調表示し、+または-キーを使用して、特定のモニタに対応する値にします。

4. **Enter**キーを押して設定を保存し、メニューを終了します。

または、

**F10**キーを押してデフォルト設定を復元します。

または、

**Esc**キーを押して、設定を保存せずにメニューを終了します。

# 付録A

## 規定に関するご注意

ご使用になっている装置にVCCIマークが付いていましたら、次の説明文をお読みください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCIマークが付いていない場合には、次の点にご注意ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

## 規定準拠識別番号

規定準拠認定と識別用に、Compaq コンソール スイッチ ボックスには、コンパックシリーズ番号が割り当てられています。この製品のコンパック シリーズ番号は、次の通りです。

- 2ポート-EO1002
- 4ポート-EO1004A
- 8ポート-EO1004B
- デュアル コンソール 8ポート-EO1004C

Compaqコンソール スイッチ ボックス シリーズ番号は、必要な承認マークと情報とともに、製品ラベルに記載されています。製品ラベルは、スイッチ ボックスの底面に貼付されています。この製品の認定情報を要求される場合は、必ずこのシリーズ番号をお知らせください。このシリーズ番号は、Compaqコンソール スイッチ ボックスの市販名やモデル番号とは別のものです。

## 各国別勧告

以下に日本以外の国や地域での規定を掲載します。

## Federal Communications Commission Notice ( 米国 )

Part 15 of the Federal Communications Commission (FCC) Rules and Regulations has established Radio Frequency (RF) emission limits to provide an interference-free radio frequency spectrum. Many electronic devices, including computers, generate RF energy incidental to their intended function and are, therefore, covered by these rules. These rules place computers and related peripheral devices into two classes, A and B, depending upon their intended installation. Class A devices are those that may reasonably be expected to be installed in a business or commercial environment. Class B devices are those that may reasonably be expected to be installed in a residential environment (i.e., personal computers). The FCC requires devices in both classes to bear a label indicating the interference potential of the device as well as additional operating instructions for the user.

The rating label on the device shows which class (A or B) the equipment falls into. Class B devices have an FCC logo or FCC ID on the label. Class A devices do not have an FCC ID on the label. Once the class of the device is determined, refer to the following corresponding statement.

## Class A Equipment

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case the user will be required to correct the interference at personal expense.

## Class B Equipment

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio or television technician for help.

## Modifications

The FCC requires the user to be notified that any changes or modifications made to this device that are not expressly approved by Compaq Computer Corporation may void the user's authority to operate the equipment.

## Cables

Connections to this device must be made with shielded cables with metallic RFI/EMI connector hoods in order to maintain compliance with FCC Rules and Regulations.

## **Declaration of Conformity for Products Marked with the FCC logo – United States Only**

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

For questions regarding your product contact:

Compaq Computer Corporation

P. O. Box 692000, Mail Stop 530113

Houston, Texas 77269-2000

or call

1-800- 652-6672 (1-800-OK COMPAQ). (Calls may be monitored or recorded for continuous quality improvement.)

For questions regarding this FCC declaration contact:

Compaq Computer Corporation

P. O. Box 692000, Mail Stop 510101

Houston, Texas 77269-2000

or call

(281) 514-3333.

To identify this product, refer to the Part, Series, or Model number found on the product.

## Canadian Notice (Avis Canadien) (カナダおよびカナダ、フランス語使用地域)

### Class A Equipment

This Class A digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulations.

Cet appareil numérique de la classe A respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

### Class B Equipment

This Class B digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulations.

Cet appareil numérique de la classe B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

## European Union Notice (欧州)

Products with the CE Marking comply with both the EMC Directive (89/336/EEC) and the Low Voltage Directive (73/23/EEC) issued by the Commission of the European Community.

Compliance with these directives implies conformity to the following European Norms (in brackets are the equivalent international standards):

- EN55022 (CISPR 22) - Electromagnetic Interference
- EN50082-1 (IEC801-2, IEC801-3, IEC801-4) - Electromagnetic Immunity
- EN60950 (IEC950) - Product Safety

## Taiwanese Notice (台湾)

警告使用者：

這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。



# 付録B

## 電源コードについて

付属の電源コードは、電気用品取締法に適合しており、日本国内でご使用いただけます。また、電圧選択スイッチを切り替えることで100～120V（日本国内）と220～240Vの定格入力電圧で動作します。

国外で使用する場合は、その国の規格に適合する電源コードをご使用ください。詳しくは、コンパック製品販売店またはコンパック正規保守代理店にお問い合わせください。

### 一般的な条件

次の条件は各国共通のものであります。

- 電源コードの長さは、1.8m以上で3.7m以内でなければなりません。
- 電源コード セット（プラグ、コード、およびカブラ）は、ワークステーションを使用する国の規格に適合したものでなければなりません。
- 電源コード セット（プラグ、コード、およびカブラ）は、最小許容電源10A、公称定格電圧125Vまたは250V（ご使用になる国によって異なります）の交流用のものでなければなりません。
- カブラ（壁用のプラグではなく、本体と接続するコネクタの部分）は、EN 60 320/IEC 320規格のインレット（標準シートC13）に適合するものでなければなりません。

## 国別必要条件

**表B-1**  
**国別必要条件**

国名	承認機関	注
オーストラリア	EANSW	1
オーストリア	OVE	1
ベルギー	CEBC	1
カナダ	CSA	2
デンマーク	DEMKO	1
フィンランド	SETI	1
フランス	UTE	1
ドイツ	VDE	1
イタリア	IMQ	1
日本	MITI	3
ノルウェー	NEMKO	1
スウェーデン	SEMKO	1
スイス	SEV	1
イギリス	BSI	1
アメリカ	UL	2

**注:**

1. コードは1.0mm<sup>2</sup>、<HAR>タイプのHO5VV-F、3線コードでなければなりません。電源コードセット（プラグ、コード、およびカブラ）は、それを使用する国の承認機関による承認マークが付いているものでなければなりません。
2. コードは、SVTタイプまたはその同等品で、No.18 AWG、3線コードでなければなりません。プラグはNEMA 5-15P（15A、125VAC）の構成のアース型でなければなりません。
3. 電源コードセット（カブラ、コード、およびプラグ）は、▽マークと日本の電気用品取締法による登録番号が付いていなければなりません。また、定格電流許容値は、7A以上でなければなりません。コードはVCTまたはVCTFで1.0mm<sup>2</sup>の3線コードでなければなりません。プラグは、JIS C8303（7A、125VAC）の構成の2極のアース型でなければなりません。

# 付録C

## 仕様

**表C-1**  
**Compaqコンソール スイッチ ボックス2ポートの仕様**

<b>寸法</b>	
高さ	4.34cm
奥行	17.8cm
幅	25.4cm
重量	1.47kg
<b>入力電源要件</b>	
定格電圧	100 ~ 240V AC
定格周波数	50 ~ 60Hz
定格入力電流	.5 ~ .25A
<b>温度範囲</b>	
動作時の最大周囲温度	10° ~ 40°C
保管および搬送時の周囲温度	-40° ~ 85°C
スイッチ ボックスの最大ラック内温度	50°C

続く

## C-2 Compaqコンソール スイッチ ボックス ユーザ ガイド

**表C-1**

**Compaqコンソール スイッチ ボックス2ポートの仕様 (続き)**

相対湿度 (結露なし)	
動作時	20% ~ 80%
非動作時	5% ~ 90%
サポートされているビデオ モード	
	VGA、SVGA、XGA

**表C-2**

**Compaqコンソール スイッチ ボックス4ポート、  
8ポート、およびデュアル コンソール8ポートの仕様**

寸法	
高さ	4.5cm
奥行	20.3cm
幅	43.2cm
重量	
4ポート	2.38kg
8ポート	2.38kg
デュアル コンソール8ポート	2.59kg
入力電源要件	
定格電圧	
4ポート、8ポート、 デュアル コンソール8ポートAC	100 ~ 240V AC
定格周波数	
4ポート、8ポート、 デュアル コンソール8ポートAC	50 ~ 60Hz
定格入力電流	
4ポート、8ポート デュアル コンソール8ポートAC	1 ~ .5A 120mA

続く

表C-2

**Compaqコンソール スイッチ ボックス4ポート、  
8ポート、およびデュアル コンソール8ポートの仕様 (続き)**

---

<b>温度範囲</b>	
動作時の最大周囲温度	10° ~ 50°C
保管および搬送時の周囲温度	-40° ~ 85°C
スイッチ ボックスの最大ラック内温度	50°C

---

<b>相対湿度 (結露なし)</b>	
動作時	20% ~ 80%
非動作時	5% ~ 90%

---

<b>サポートされているビデオ モード</b>	VGA、SVGA、XGA
-------------------------	--------------

---

## トラブルシューティングのヒント

表D-1  
ビデオのトラブルシューティング

症状	考えられる原因	推奨する解決策
すべてのコンピュータでビデオが表示されない	ビデオの接続がゆるくなっている ビデオ ケーブルが不良 スイッチまたはモニタに電源が入っていない	ビデオ ケーブルを再接続します ビデオ ケーブルを交換します 電源スイッチをチェックします 電源ケーブルを再接続します ACコンセントの電源をチェックします
1台のコンピュータでビデオが表示されない	ビデオ ケーブルの問題	ゆるんでいるビデオ ケーブルをしっかりと接続をします ビデオ ケーブルを交換します ポートに接続されているコンピュータの電源を入れます



続く

## D-2 Compaqコンソール スイッチ ボックス ユーザ ガイド

**表D-1**  
ビデオのトラブルシューティング (続き)






症状	考えられる原因	推奨する解決策
OSDの色またはセットアップが不適合	[Names]、[Flag]、または[Device]ダイアログ ボックスの設定が正しくない	これらのメニューの設定が正しく定義されているか確認します (2ポートについては、OSDメニューもチェックします)  [Commands] 画面で [Reset] をクリックします (2ポート以外の全モデル)  または、  必要ならば、 <b>F10+Enter</b> キーを押して、設定をデフォルトにリセットします (2ポート スイッチ ボックスのみ)

**表D-2**  
ステータス シンボルのトラブルシューティング

症状	考えられる原因	推奨する解決策
コンピュータ番号または名前の横に  も  も表示されない (2ポート以外の全モデル)  コンピュータ番号または名前の横に+が表示されない (2ポートのみ)	キーボード信号が通じていない	コンピュータとスイッチの間のゆるくなっているキーボード ケーブルをしっかりと接続します  または、  スイッチのコンピュータ ポートで、キーボード ケーブルを抜き取って、接続しなおします。(ケーブルを抜き取ると、コンピュータの電源を入れなおさなければならない場合があります。したがってこれらのテストは、メンテナンス時間をスケジュールできる場合にのみ行ってください。)  次に、スイッチ コンソールで <b>Esc+Print Scrn</b> キーを押します

続く

表D-2  
ステータス シンボルのトラブルシューティング (続き)

症状	考えられる原因	推奨する解決策
カスケード接続ポートに  が表示される (2ポート以外の全モデル)	キーボードの接続がゆるんでいる	スイッチのコンピュータ ポートで、キーボード ケーブルを抜き取って、接続しなおします。 (ケーブルを抜き取ると、コンピュータの電源を入れなおさなければならない場合があります。したがってこれらのテストは、メンテナンス時間をスケジュールできる場合にのみ行ってください。)  キーボード ケーブルを交換します
コンピュータ番号または名前の横に、  が表示されるはずなのに、  が表示される (2ポート以外の全モデル)	他のスイッチからの相互接続ケーブル (m-m) が、誤ってポートに接続されている	スイッチを切り離して、そのポートにコンピュータを接続します
 が表示されるはずなのに、  が表示される プライマリ コンピュータで が表示される (2ポート以外の全モデル)	プライマリ スイッチの[Device] ダイアログ ボックスの設定が正しくない	セカンダリ スイッチに対して、正しいポート数 (4または8) が選択されているか確認します  セカンダリ スイッチに接続されていない場合は、すべてのポート設定がDEFAULTになっているか確認します

表D-3  
キーボードのトラブルシューティング

症状	考えられる原因	推奨する解決策
キーボードが動作していない	OSDの遅延時間が有効になっている	次の手順で遅延時間をオフにします  2ポート以外の全モデル: <b>Print Scrn+ Alt+S+Alt+M</b> キーを押します。[Delay Time]に0秒とタイプします  2ポート スイッチ ボックスのみ: <b>Print Scrn+F2</b> キーを押します。[OSD]を選択します。[Delay Time]に0秒とタイプします



## D-4 Compaqコンソール スイッチ ボックス ユーザ ガイド

表D-3

キーボードのトラブルシューティング (続き)

症状	考えられる原因	推奨する解決策
1台のコンピュータでキーボードが動作していない	キーボードは動作しているが、その後動作を停止した	<p>コンピュータとスイッチの間のゆるんでいるキーボード ケーブルをしっかりと接続します</p> <p>キーボード ケーブルを交換します</p> <p>最大ケーブル長をチェックします</p> <p>スイッチの背面パネルのResetボタンを押します</p> <p>コンソール ケーブルの延長の最大長をチェックします</p>
	キーボードは一度も動作していない	<p>ケーブルがクロス接続でないかチェックします</p> <p>キーボード ケーブルを交換します</p> <p>スイッチのコンピュータ ポートで、キーボード ケーブルを抜き取り、接続しなおします。(ケーブルを抜き取ると、コンピュータの電源を入れなおさなければならない場合があります。したがってこれらのテストは、メンテナンス時間をスケジュールできる場合にのみ行ってください。)</p> <p>最大ケーブル長をチェックします</p> <p>コンソール ケーブルの延長の最大長をチェックします</p> <p>コンソールのキーボードを交換します</p>

続く

**表D-3**  
**キーボードのトラブルシューティング (続き)**

症状	考えられる原因	推奨する解決策
すべてのコンピュータでキーボードが動作していない	キーボード信号はすべてのコンピュータで動作していたが、その後動作を停止した	<p>コンピュータとスイッチの間のゆるんでいるキーボード ケーブルをしっかりと接続します</p> <p>コンソール ケーブルの延長の最大長をチェックします</p> <p>コンソールのキーボードを交換します</p> <p>スイッチの背面パネルのResetボタンを押します</p>
	キーボード信号は一度も動作していない	<p>キーボードのコンソール ケーブルをチェックします</p> <p>コンソール ケーブルの延長の最大長をチェックします</p> <p>コンソールのキーボードを交換します</p> <p>スイッチの背面パネルの Reset ボタンを押します</p> <p>ゆるんでいるコンピュータのキーボード ケーブルをしっかりと接続します</p> <p>コンピュータとスイッチ間のケーブルの最大長をチェックします</p>
キーボード ストロークがシフトされる (小文字が大文字に変えられる)	コンピュータは、最後の接続時にキーボードをシフト状態にしていた	両方の <b>Shift</b> キーを押します
キーボードが正しく機能していない	キーボードがロック モードになっている	<p>コンソールのキーボードで、次のキーを押します</p> <p>キーボードの左側で、</p> <p><b>Caps Lock</b>キーを押します</p> <p><b>Shift</b>キーを押します</p> <p><b>Control</b>キーを押します</p> <p><b>Alt</b>キーを押します</p> <p>キーボードの右側で、</p> <p><b>Alt</b>キーを押します</p> <p><b>Control</b>キーを押します</p> <p><b>Shift</b>キーを押します</p>

**表D-4**  
**マウスのトラブルシューティング**

症状	考えられる原因	推奨する解決策
すべてのコンピュータで、起動時にマウス エラーが発生	マウス ケーブルの接続がゆるくなっている	ゆるんでいるマウス ケーブルをしっかりと接続します  クロス接続でないかチェックします
	互換性のないマウス、またはマウスの不良	PS/2またはマウス ポートに対応したマウスに交換します
1台のコンピュータで、起動時にマウス エラーが発生	マウス ケーブルの接続がゆるくなっている	ゆるんでいるマウス ケーブルをしっかりと接続します
	マウス ケーブルの不良	マウス ケーブルを交換します
	コンピュータのシリアル ポートを使用	PS/2-シリアル プロトコル コンバータをインストールします
マウスが不規則な動作を表示	コンピュータはマウスを中間状態にしていた	OSDまたはResetスイッチでマウスをリセットします
マウス ポインタが画面上で動かない	マウスが初期化されていない	OSDまたはResetスイッチでマウスをリセットします

**表D-5**  
**スイッチのトラブルシューティング**

症状	考えられる原因	推奨する解決策
ユニットが1つのシステムから次のシステムに勝手に切り替える	スキャン モードが起動されている	任意のキーを押すか、マウスを移動して、スキャンを停止します
キーボードまたはマウスの入力が、2台以上のコンピュータに表示される	ブロードキャスト モードが起動されている	OSDを使用してブロードキャスト モードを終了します
OSDメニューでブロードキャスト機能がグレー表示されている	他のユーザ コンソールで使用されている	他のユーザ コンソールに、OSDメニューでブロードキャスト機能を非アクティブにするよう要求します

**表D-6**  
**ファームウェア アップデートのトラブルシューティング**

症状	考えられる原因	推奨する解決策
ファームウェアがダウンロードされない	ケーブルに問題がある	ゆるんでいるケーブルをしっかりと接続します  シリアルケーブルを交換します  シリアルケーブルが、コンピュータのCOMポートと、スイッチのシリアルポートに接続されているか確認します
ファイル名をタイプした後で、File Not Found または Can't Openメッセージを受信	ファイル名またはパスが正しくない	ファイル名を正しくタイプしたか確認します  ファイルへのパスが正しいか確認します  ファイル拡張子が正しいかチェックします (.bin)
番号をタイプした後で、Invalid Port Numberメッセージを受信	COMポートが正しくない	COMポート番号が、4以下の数値エントリになっているかチェックします
ファームウェアのアップデート時に、ダウンロードがタイムアウトした	ポートにアクセスできない	正しいポートが選択されたか確認します  別のプログラムが同じポートを使用している場合は、そのプログラムを終了します  シリアルケーブルがインストールされていない場合、または不良の場合は、新しいケーブルをインストールします

## ファームウェアのアップデート

スイッチのファームウェアをアップデートできます。スイッチのアプリケーション コードはFLASH ROMの中にあるため、簡単にアップデートすることができます。ポート通信の設定は自動的に行われ、接続されたコンピュータから直接ダウンロードすることができます。

### 手順

ファームウェアをアップデートするには、次が必要です。

- MS-DOS、Microsoft Windows 3.1、またはWindows 95/98/NTを実行中のコンピュータ
- コンピュータ上の使用可能なシリアル通信ポート
- スイッチとコンピュータの間を接続する標準シリアルケーブル（D-Sub9ピン）
- ファームウェアのアップデート

## E-2 Compaqコンソール スイッチ ボックス ユーザ ガイド

ファームウェアをアップデートするには、次の手順に従ってください。

1. 標準シリアル ケーブルを、コンピュータのシリアル ジャックと、スイッチの背面パネルのシリアル ジャックに接続します。
2. **Print Scrn**キーを押して、OSDメニューを開きます。
3. プロンプト入力モードを使用する場合は、手順4～6に従います。シングル エントリ モードを使用する場合は、手順7に進みます。

### プロンプト入力

4. ファイルが保存されているドライブがCの場合は、DOSプロンプトで次をタイプします。

C:¥Update.exe

次に、**Enter**キーを押します。

5. プロンプトで、ファイル名を入力します。ファイル名は.bin拡張子を持っています。**Enter**キーを押します。
6. プロンプトで、スイッチが接続されているコンピュータのシリアル ポート番号をタイプします。**Enter**キーを押します。

データが正しくタイプされた場合は、コンピュータにスイッチのアップデートが進行中であることを通知するメッセージが表示されます。

手順8に進みます。

### シングル エントリ

7. ファイルが保存されているドライブがCの場合は、DOSプロンプトで次をタイプします。

C:¥UPDATE.EXE ファイル名 ポート番号

次に、**Enter**キーを押します。

データが正しくタイプされた場合は、アップデートが進行中であることを通知するメッセージがコンピュータに表示されます。

8. ファームウェアがアップデートされた後は、次のメッセージが表示されます。

100% Complete. Download completed successfully. Thank you for using  
COMPAQ products.

アップデートの完了後、スイッチが自動的に再起動されます。

**注:** アップデートが成功しなかった場合は（たとえば停電によって）、手順を繰り返してください。

# 索引

## 2

- 2ポートユニット
  - 0U インストール 2-3

## 4

- 4ポートユニット
  - 0U サイドマウント
    - インストール 2-6
  - 0U リアラック
    - インストール 2-7
  - 標準 1U インストール 2-10

## 8

- 8ポートデュアルコンソールユニット
  - 0U リアラック
    - インストール 2-7
  - 1U インストール 2-10
  - サイドマウント
    - インストール 2-6
- 8ポートユニット
  - 0U サイドマウント
    - インストール 2-6
  - 0U リアラック
    - インストール 2-7
  - 標準 1U インストール 2-10

## A

- [Advanced Menus]
  - 簡易 OSD 5-3

## B

- Broadcast
  - Active 機能 4-8
- [Broadcast]画面
  - 機能 4-23
  - 図 4-23
- Broadcast ボタン 4-7

## C

- Cables A-3
- Canadian Notice (Avis Canadien) (カナダおよびカナダ、フランス語使用地域) A-5
- FCC Class A Equipment A-3
- FCC Class B Equipment A-3
- [Commands]
  - 画面、機能 4-8
  - 画面、図 4-7
  - 画面、表示 4-7
  - ボタン 4-8
- Compaq
  - コンソールスイッチ
    - 機能 1-2
- cooperative モード
  - 設定 4-7

## 2 Compaqコンソール スイッチ ボックス ユーザ ガイド

### D

- Defaults ボタン 4-12
- [Device Modify]画面
  - 機能 4-11
  - 図 4-11
  - 表示 4-11
- [Devices]画面
  - 機能 4-10
  - 図 4-10
- Devices ボタン 4-7

### E

- European Union Notice ( 欧州 ) A-5

### F

- Federal Communications Commission  
Notice ( 米国 ) A-2
- [Flag]画面
  - 機能 4-18
  - 図 4-17
- Flag ボタン 4-7

### M

- [Main]画面
  - 機能 4-6
- [Menu]画面 4-13
  - 機能 4-14
- Menu ボタン 4-7
- Modifications A-3
- Modify ボタン 4-10

### N

- [Names]画面
  - 機能 4-12
  - 図 4-12
- Names ボタン 4-6、 4-7
- No Device  
選択 4-11
- NVRAM 1-2、 3-5、 3-6

### O

- OSD 4-1
  - [Main]画面 4-4
  - [Main]画面、図 4-5
  - アクティブ 4-3
  - 画面、規則 4-3
  - キーボード、規則 4-3
  - 機能 4-2
  - セカンダリ スイッチへの  
アクセス 4-25
  - 選択画面、開く 4-3
  - ナビゲート 4-2
  - マウス、規則 4-3
  - メニュー、規則 4-3

### P

- Port ボタン 4-6
- preemptive モード  
設定 4-7

### R

- [Reset]  
コマンド 4-9

### S

- Scan Enabled 機能 4-8
- [Scan]画面
  - 機能 4-16
  - 図 4-15
- Scan ボタン 4-7
- [Security]画面
  - 機能 4-19
  - 図 4-19
- Security ボタン 4-7
- [Selection]画面
  - アクセス 5-2
  - プライマリ スイッチに  
アクセスする 5-2
- [Setup]画面
  - 機能 4-7



図 4-6

表示 4-6

Setup ボタン 4-6

Snapshot ボタン 4-8

Standard

選択 4-11

## V

[Version]画面 4-8

[Version]画面、図 4-9

Version ボタン 4-8

## T

Taiwanese Notice (台湾) A-5

## い

インストール

カバー パネル 2-14

チェックリスト 2-2

ハードウェア 2-1

ラックの背面にケージナット  
2-8

インストレーション

2ポート0U 2-3

4ポートおよび8ポート サイド  
マウント0U 2-6

4ポートおよび8ポート リア  
ラック0U 2-7

サイドマウント、固定 2-7

標準1U 2-10

ラックマウント 2-13

## お

奥行

2ポート C-1

4ポート、8ポート C-2

温度範囲

2ポート C-1

4ポート、8ポート C-3

オンライン ヘルプ

開く 4-3

## か

カスケード接続

コンフィギュレーション 3-6、3-7  
システムに電源が入った状態  
で行う 3-7

カスタム スキャン パターン

設定 4-16、5-11

カバー パネルをインストールする  
2-14

画面

規則、OSD 4-3

キャプチャ

実行 4-27、5-1

表示の設定 5-8

簡易 OSD

起動 5-1

終了 5-4

## き

キーボード

LED 設定、表示 4-8

キーのリピート速度、表示 4-8

規則、OSD 4-3

設定、保存 「Snapshot ボタン」を  
参照

タイプ、表示 4-8

同時制御を設定 「Broadcast」を  
参照

トラブルシューティング D-3

ポート モード、表示 4-8

有効/無効 4-8

リセット 4-9、5-17

ロック 4-20、5-13

キット

Compaq コンソール スイッチ、  
内容 2-2

機能

[Commands]画面 4-8

[Device Modify]画面 4-11

[Devices]画面 4-10

[Main]画面 4-6

[Setup]画面 4-7

## 4 Compaqコンソール スイッチ ボックス ユーザ ガイド

Compaq コンソール スイッチ

1-2

切り離す

ケーブル ロック メカニズム

3-1

## け

警告

感電 viii

電源コードのアース機能は無効

にしないでください 3-4

ラックに関する作業を行う前

2-1

ラックに関する注意 ix

ケーブル

情報 3-1

接続の順序 3-2

長さ、品質への影響 3-1

ロック、切り離す 3-1

言語の選択 4-1

## こ

コンパクト カスタマーセンター x

コンパクトの Web サイト ix

コンピュータ

2 台以上を同時制御 4-8

起動動作 3-5

切り替える 5-5

スキャン 5-10

スキャン リストから削除する

5-12

選択 5-4

電源が入った状態で、追加の

コンピュータを接続する 3-6

名前で識別する 4-12

名前を割り当て 4-7

コンピュータ間

切り替え 4-26

コンフィギュレーション

カスケード接続 3-6

図 3-7

その他 3-6

デュアル コンソール 3-8

## さ

サーバアクセス、セキュリティ

5-12

再起動

自動 3-5

## し

システムに電源が入った状態でカス

ケード接続を行う 3-7

自動再起動 3-5

重量

2 ポート ユニット C-1

4 ポート、8 ポート ユニット

C-2

仕様 C-1

障害

通信 4-9

## す

図

1 台の 4 ポート ユニット 1-3

2 ポート サイド マウント

インストレーションの固定 2-4

2 ポート サイド マウント

レールの取り付け 2-3

2 ポート ユニットをラックの

側面に装着する 2-3

2 ポート キーボード/ビデオ/マ

ウス ケーブルの接続 2-5

[Advanced Menu]、[Commands]

(簡易 OSD) 5-3

[Advanced Menu]、[Setup]

(簡易 OSD) 5-4

[Broadcast]画面 4-23

[Commands]画面 4-7

[Device Modify]画面 4-11

[Device Settings]画面 (簡易

OSD) 5-17

[Devices]画面 4-10

[Flag Configuration]画面 (簡易

OSD) 5-9

[Flag]画面 4-17

[Names]画面 4-12  
 OSDの[Main]画面 4-5  
 [Port Name Setup] (簡易 OSD) 5-6  
 [Scan Pattern Setup]画面 (簡易 OSD) 5-11  
 [Scan]画面 4-15  
 [Security Configuration]画面 (簡易 OSD) 5-13  
 [Security]画面 4-19  
 [Selection]画面 (簡易 OSD) 5-2  
 [Setup]画面 4-6  
 [Version]画面 4-9  
 カスケード接続 コンフィギュレーション 1-4、3-7  
 キーボードおよびマウス ケーブルの切り離し 3-2  
 サイドマウント インストールの固定 2-7  
 サイドマウント レールの取り付け 2-6  
 スイッチ ボックスをラック マウンティング ブラケットにスライドさせて押し込む 2-13  
 スイッチ ボックスをラックの中にスライドさせて押し込む 2-9  
 スライド レール ブラケットの取り付け 2-8  
 デュアル コンソール コンフィギュレーション 1-5  
 テンプレートを使用して測定する 2-11  
 マウンティング ブラケットをラックの前面に固定する 2-13  
 マウンティング ブラケットをラックの背面に取り付ける 2-12  
 ユニットをラックの側面に装着する 2-6  
 ラックの背面にケージ ナットを取り付ける 2-8

レールの固定 2-9  
 スイッチ  
 セカンダリ 4-11  
 トラブルシューティング D-6  
 プライマリ 4-10  
 リセット 1-2  
 スイッチ ボックス  
 起動動作 3-5  
 ラックの中にスライドさせて押し込む 2-9  
 スキャン パターン  
 設定 4-7  
 スキャン モード  
 キャンセルする 5-11  
 スクリーン セーブ  
 オフにする 5-15  
 設定 4-7  
 テスト 4-22  
 無効 4-21  
 ステータス シンボル  
 トラブルシューティング D-2  
 ステータス フラグ 3-5  
 属性の変更 5-9  
 配置 4-18  
 ステータス ポート 4-5  
 記号 4-5  
 記号 (簡易 OSD) 5-3  
 スライド レール ブラケット  
 取り付け 2-10

## せ

セカンダリ スイッチ 4-10  
 2ポート スイッチを割り当てる 4-11  
 4ポート スイッチを割り当てる 4-11  
 8ポート スイッチを割り当てる 4-11  
 セカンダリ ポート 4-5  
 接続、電源が入った状態 3-6  
 設定  
 デフォルト 4-14  
 デフォルトに戻す 4-8

## 6 Compaqコンソール スイッチ ボックス ユーザ ガイド

### そ

装置の記号 viii  
その他のコンフィギュレーション  
3-6


### た

高さ  
2ポート C-1  
4ポート、8ポート C-2

### ち

遅延時間  
設定 4-7  
注意  
モニタが損傷する場合 4-20、  
4-21、5-14  
調整可能なラック マウンティング  
ブラケット  
取り付ける 2-11

### て

デバイス  
タイプ、割り当て 4-10  
変更 4-10  
デフォルト設定 4-12  
戻す 4-8  
デュアル コンソール  
コンフィギュレーション 3-8  
コンフィギュレーション、 1-5  
電源  
コード、条件 B-1  
スイッチ 3-5  
要件、2ポート C-1  
要件、4ポートと8ポート C-2  
電源が入った状態での接続 3-6  
電源を入れる 3-5

### と

トラブルシューティング D-1

キーボード D-3  
スイッチ D-6  
ステータス シンボル D-2  
ビデオ D-1  
ファームウェア アップデート  
D-7  
マウス D-6

### な

名前  
アルファベット順にソート 4-6  
コンピュータに割り当て 4-7  
リストから削除 4-11

### は

バージョン情報  
表示 5-15  
ハードウェア  
インストール 2-1  
設定、保存 5-16  
パスワード 1-2  
設定 4-7  
変更 4-20

### 幅

2ポート C-1  
4ポート、8ポート C-2

### ひ

左マウス ボタン、機能 4-2  
ビデオ  
サポートされているモード、2  
ポート C-2  
サポートされているモード、4  
ポート、8ポート C-3  
トラブルシューティング D-1  
ポートからポートへ切り替え  
4-8  
表記上の規則 ix  
表示順序  
設定 4-7

## ふ

- ファームウェア
  - アップデート 1-2、E-1
  - バージョン、情報の表示 4-8
- ファームウェア アップデート
  - トラブルシューティング D-7
- プライマリ スイッチ 4-10
- プライマリ ポート 4-5
- フラグ表示
  - カスタマイズ 4-7
- フラグ表示の設定 5-10
- ブロードキャスト
  - オフにする 4-24
  - カスケード接続コンフィギュレーション 4-24
  - 選択されたコンピュータ 4-24
- プログラマブル スキャン 1-2

## へ

- ヘルプ情報
  - 最新情報 ix
  - 入手方法 ix

## ほ

- ポート
  - 4ポート
    - セカンダリ システムとして割り当てる 4-11
    - 選択 4-11
  - 8ポート
    - セカンダリ システムとして割り当てる 4-11
    - 選択 4-11
  - ステータス 4-5
  - セカンダリ 4-5
  - 設定、確立 4-7
  - 設定、デフォルトの使用 4-10
  - 設定、変更 4-10
  - 番号、ソート 4-6
  - プライマリ 4-5
  - リストから削除 4-11

本文中の記号 viii

## ま

- マウス
  - 解像度、表示 4-8
  - 規則、OSD 4-2
  - サンプルレート、表示 4-8
  - 設定、保存 「Snapshot ボタン」を参照
  - タイプ、表示 4-8
  - 同時制御を設定 「Broadcast」を参照
  - トラブルシューティング D-6
  - 有効/無効 4-8
  - リセット 4-9、5-17
- マウス ボタン
  - 左、機能 4-3
  - 右、機能 4-3

## み

- 右マウス ボタン、機能 4-3

## め

- メニュー オプション
  - 強調表示 4-3
- メニュー属性
  - 変更する 5-6

## も

- モデルの比較表 1-6
- モニタ
  - 設定、確立 4-7
  - タイプ、デフォルトの使用 4-10
  - タイプ、変更 4-10
  - ブランクにする 4-21、5-15

## ら

- ラックマウント インストール  
ン 2-13

## 8 Compaqコンソール スイッチ ボックス ユーザ ガイド

### り

リセット

    スイッチ 1-2

    ボタン 3-6

リセット スイッチ 1-2

### れ

レール

    固定 2-9

    サイドマウント、2ポートユ

        ニットに取り付ける 2-3

    スライド、スイッチ ボックス

        に取り付ける 2-8